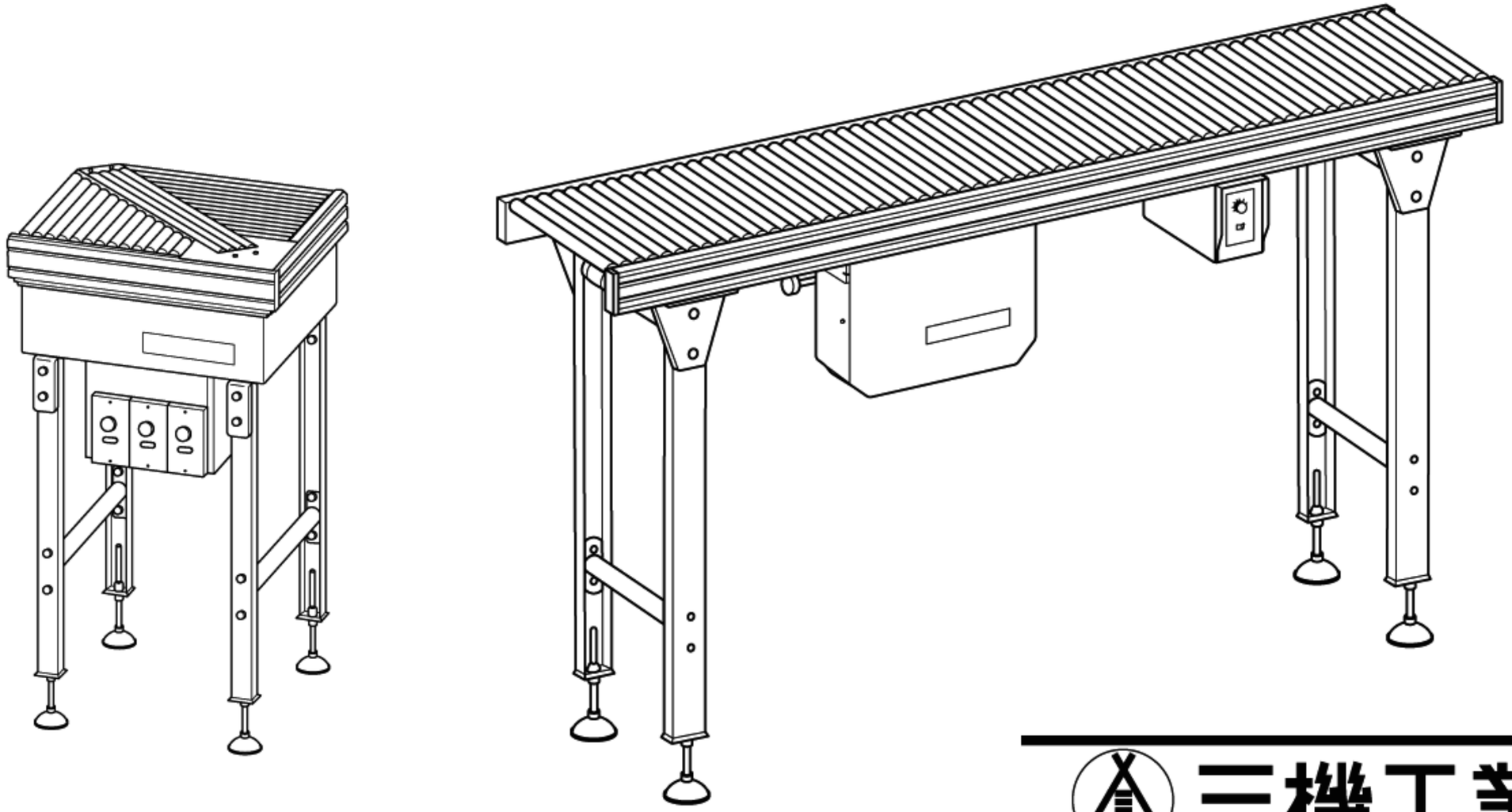
三機クリーンコンベヤ　Sanki Clean Conveyor

取扱説明書



三機工業

このたびは、三機クリーンコンベヤ をご採用いただきありがとうございました。
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はコンベヤの設置場所に備え付け、必要に応じてご覧ください。

目　次

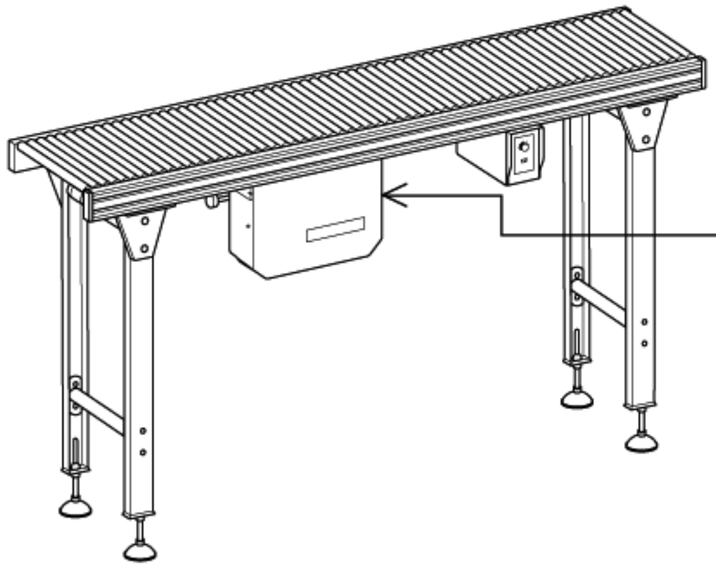
1.　取扱い上のご注意 …… 4
2.　各部名称 …… 6
3.　組　　立 …… 10
4.　運　　転 …… 14
5.　駆動ベルトの張り方（テークアップ） …… 19
6.　駆動ベルトの蛇行（片寄り）調整 …… 21
7.　駆動ベルトの交換 …… 22
8.　ドライブウレタンリング …… 25
9.　点検と保守 …… 26

三機クリーンコンベヤ

が到着しましたら... ご注文通りの製品が納入されているかお確かめください。

万一ご注文の品と異なる点がございましたら、ご使用前にご連絡ください。

［注］補修部品をご要求のとき、製作Ｎｏ.形式ラベル内容を、ご連絡ください。



（ドライブカバー側面に貼付け）

製作No. 形式ラベル［ 記入例 ］

当社の製作No.
（問い合せ時の番号です）

製作年月 ’９９年 ６月	ＪＯＢ ＮＯ. 10－30264

ＣＬＡＡ－40 02 15 D（V 90－1）R B

コンベヤ形式を表示

ローラ幅を cmで表示
（例：40=40cm）

ローラピッチを cmで２ケタ表示
（例：02=2cm）

機長をdmで2ケタ表示
（例：15＝1.52cm）

■ＣＬＣ形
コーナローラタイプの場合
コーナの表示（例：90=90°）

■ダブルドライブのときのみ略号表示
（例：Ｄ＝ダブルドライブ）

モータ区分の表示
（例：Ｖ＝変速モータ）

モータ区分	略号
定　速	C
変　速	V

モータ出力区分の表示
（例:90=出力90W）

モータ出力区分	略号
２５W	２５
４０W	４０
６０W	６０
９０W	９０
０．１kW	０１
０．２kW	０２

電源区分の表示
（例:1＝100Ｖ単相）

電源区分	略号
100V単相	1
200V単相	2
200V3相	3

樹脂ローラの色の表示
（例：Ｂ＝黒色）

ローラ色区分		略号
樹脂ローラ	白色	W
	黒色	B
	黒色カーボン入	ＢＥ
ステンレス		なし

■ＣＬＣ形
コーナローラタイプの場合
コンベヤ進行方向の表示
（例：Ｒ＝右回り）

コンベヤ進行方向	略号
右回り	R
左回り	L

※進行方向、右回り（Ｒ）が標準形

1 取扱い上のご注意

A. お使いになる前に

注 意 (caution)　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■運搬・組立時
運搬・組立などの時にコンベヤを落としてケガをしないように十分に注意して行ってください。また、クレーン等による吊り上げの時のバランスにも注意してください。

■アース線・漏電しゃ断器
感電防止のため、必ず「アース線」を接続してご使用ください。
また、電源側に「漏電しゃ断器」を取付けてご使用ください。

■非常停止装置
万一のとき、直ちにコンベヤを停止できるように「非常停止装置」を設けてご使用ください。

■起動警報装置
運転操作位置からコンベヤをすべて監視できない場合には、起動を予告する「起動警報装置」を設けてご使用ください。

安全にご使用いただくために

注 意 (caution)　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■水ぬれ防止
水などのかからない場所でご使用ください。また、濡れた手で電気部品に触れないでください。水などのかかる所では「防水対策品」（オプション）をご使用ください。

■爆発雰囲気使用禁止
爆発の危険のある雰囲気(危険なガス、粉塵などのある場所)では使用しないでください。このような所では「防爆仕様品」をご使用ください。

□　高所または傾斜でご使用の場合は…

■下面カバー･立入り防止柵
コンベヤ下に人が立ち入る恐れがある高さの部分には危険防止のため必ず「下面カバー」または「立入り防止柵」(いずれもオプション)を設けてください。

■ガードレール・上面カバー･サイドカバー
運搬物の落下を防止するため「ガードレール」または「上面カバー」「サイドカバー」(いずれもオプション)を取付けてください。

※注　お客様による改造は、弊社の保証範囲外となりますのでご承知おきください。
標準コンベヤの設置場所仕様は「国内仕様」「屋内仕様」となっております。

B．運転中には

危 険（DANGER）　取扱いを誤った場合に、重大災害が生じることが想定される場合

■接触禁止
コンベヤ運転中は、絶対に手を触れないでください。
コンベヤに巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

■上乗り禁止・下入り禁止
コンベヤの上に乗ったり、コンベヤの下には入らないでください。
転倒したり、コンベヤに巻き込まれたり・はさまれたりしてケガをする恐れがあります。

注 意（caution）　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■はさまれ・巻き込まれ防止
コンベヤに近づいて作業を行う場合は、はさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。

注 意（caution）　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■チェーンカバー、安全カバーは外さない
チェーンカバーなどがついている場合は、保守･点検などの時以外は外さないでください。スプロケット、プーリなどの回転部に巻き込まれてケガをする恐れがあります。

■負荷起動禁止
コンベヤ上に運搬物を載せたまま起動しないでください。
過負荷（オーバーロード）になりモーターを焼損する恐れがあります。カタログに表示されている所定の仕様・運搬能力の範囲内でご使用ください。

■ぶら下がり禁止
傾斜コンベヤの先端にぶら下がったり、押し下げたりしないでください。転倒などでケガをする恐れがあり危険です。

C．お使いになった後に

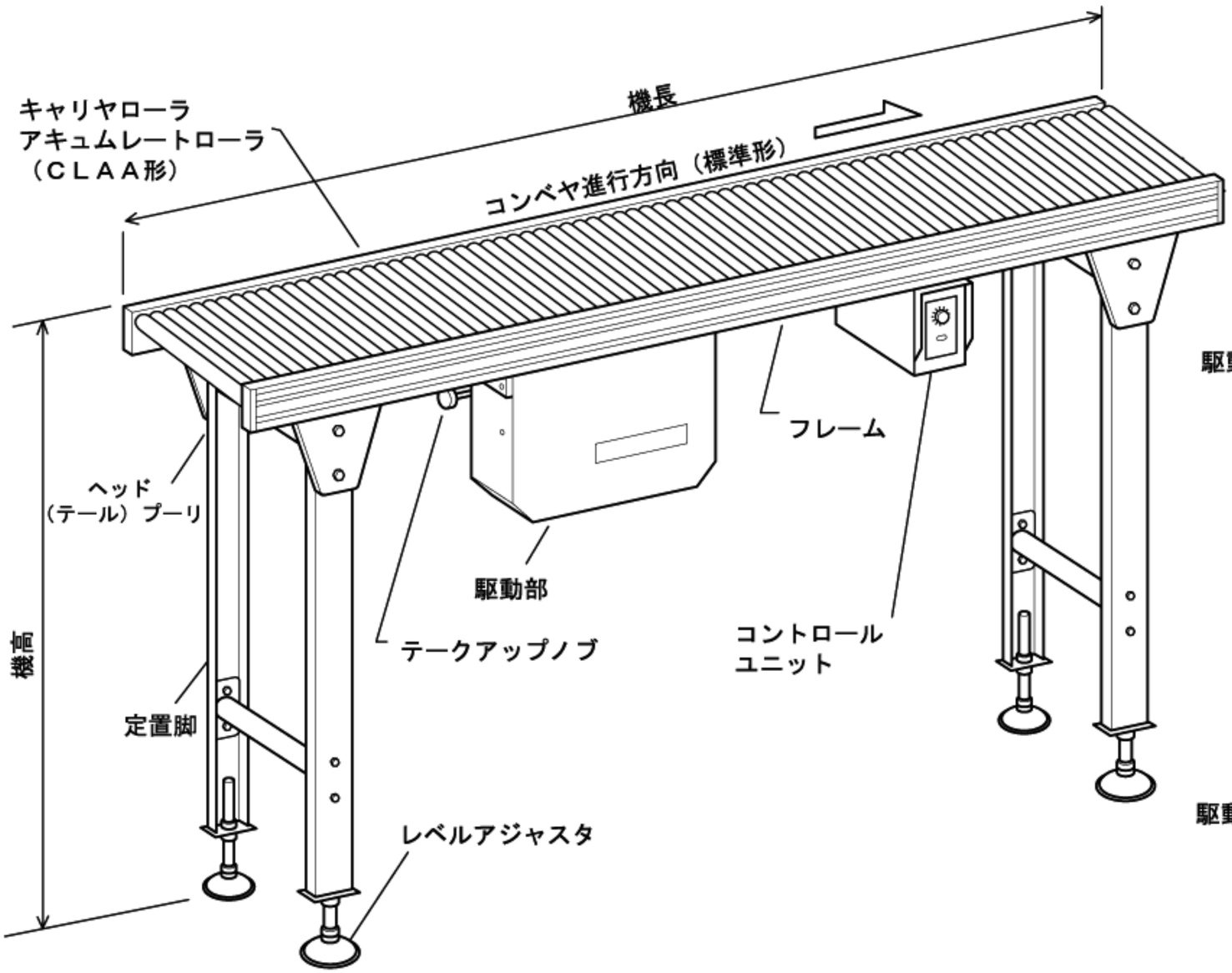
注 意（caution）　取扱いを誤った場合に、傷害を負うか又は物的損害が発生することが想定される場合。

■電源を切る
移動・点検・清掃などのときは、必ず電源を切ってから行ってください。電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。また、長時間ご使用にならないときは、漏電防止のため必ずコンセント（またはコネクタ）プラグを抜いてください。

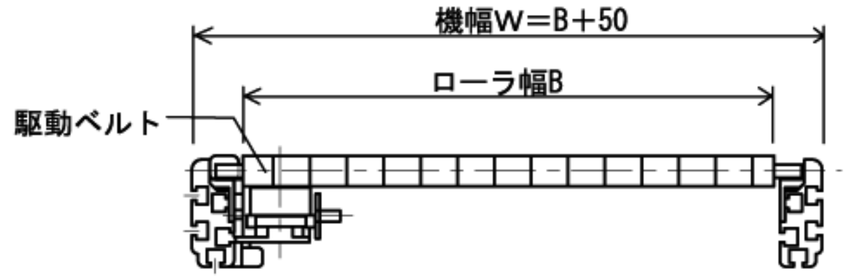
［注］労働安全衛生法および労働安全衛生規則を遵守してご使用ください。

2 各部名称

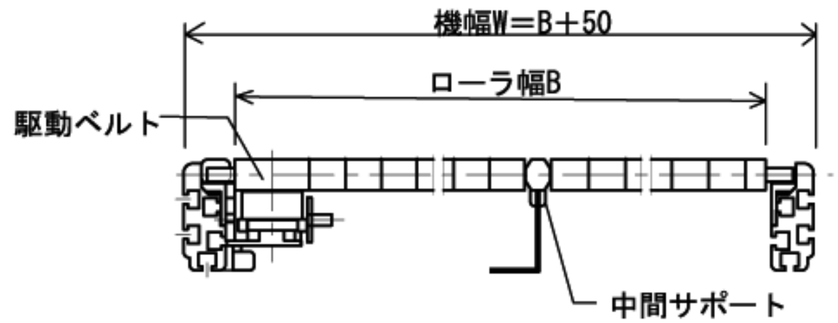
２－１　・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形



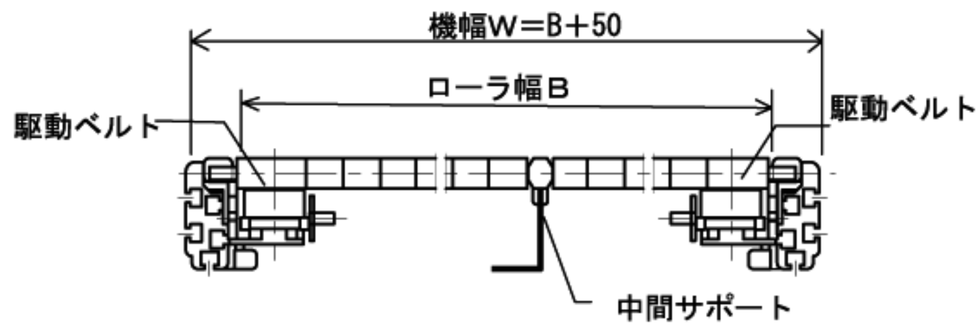
・シングルドライブ（B＝200～600mm）



・中間サポート付シングルドライブ
（B＝500・600mm）



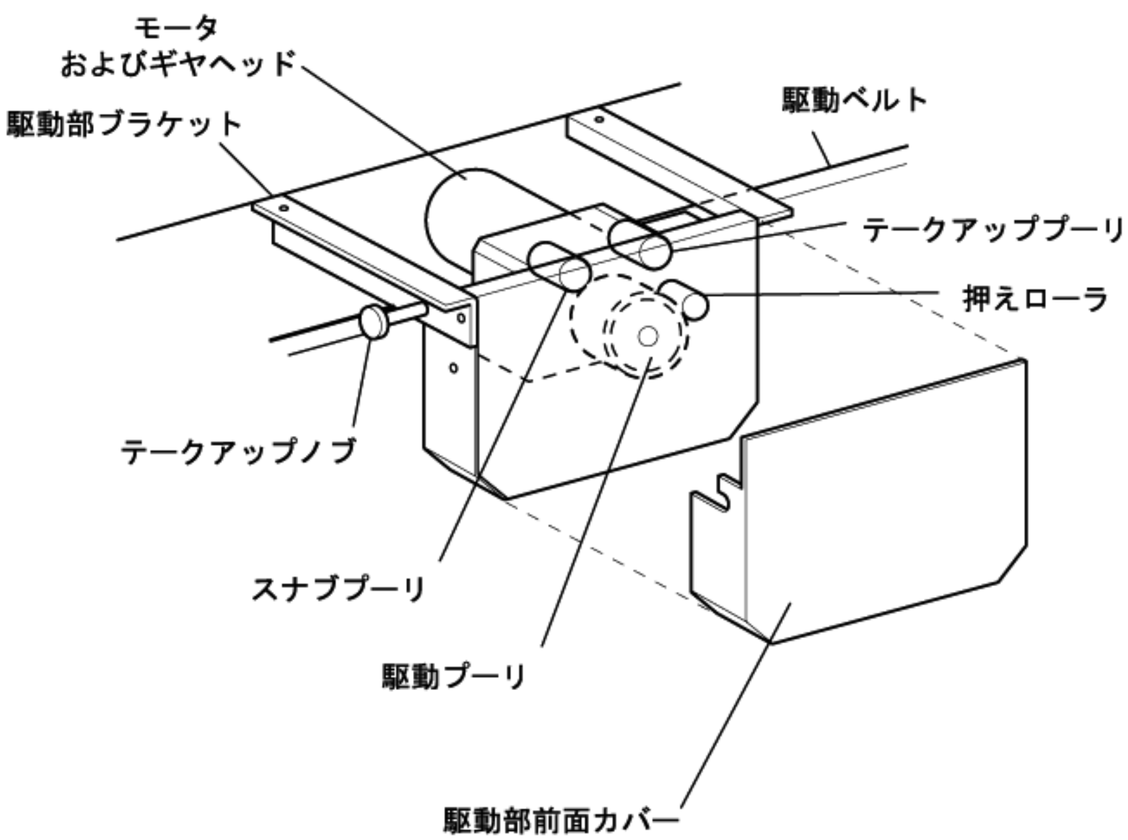
・中間サポート付ダブルドライブ
（B＝700～1000mm）



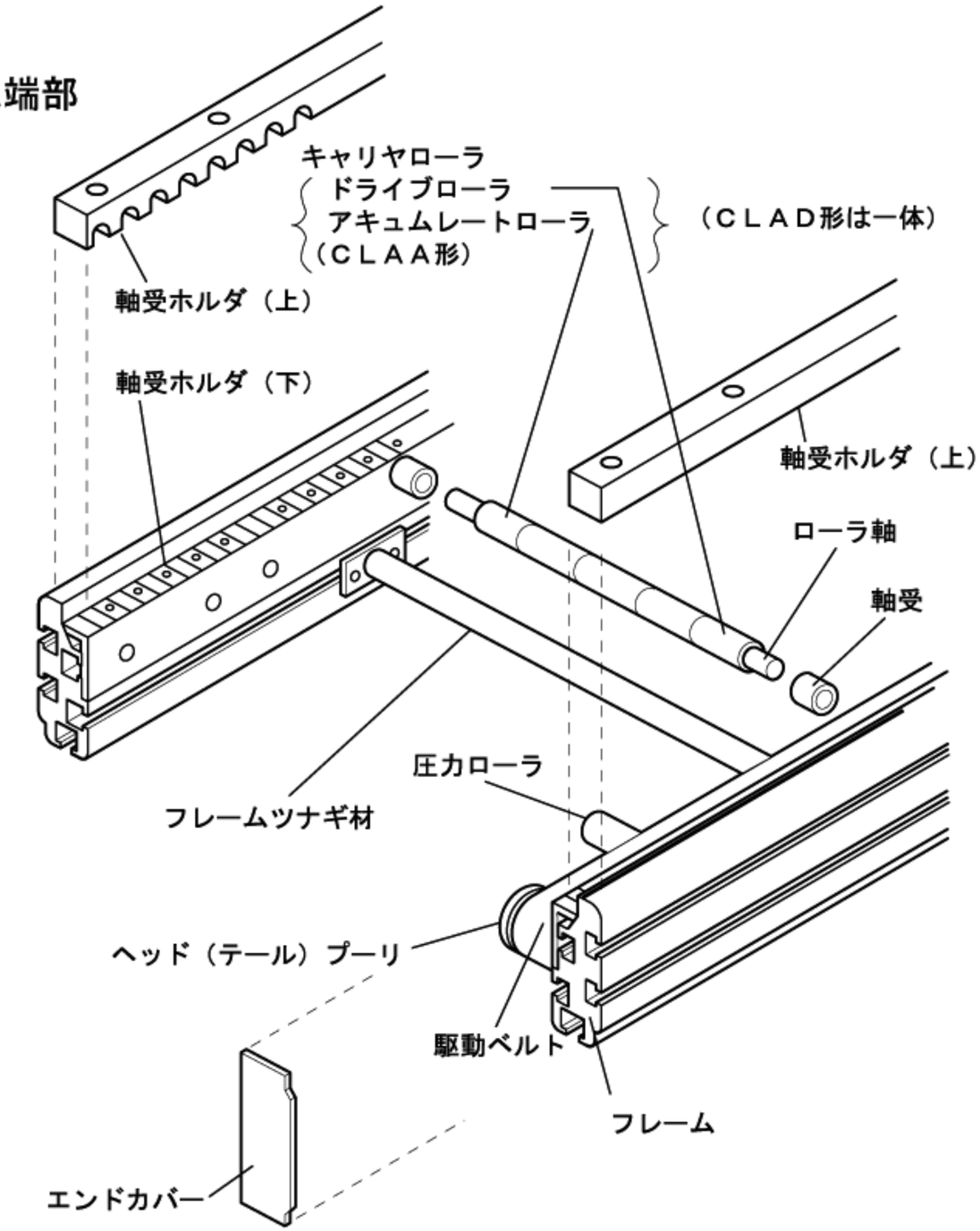
断面図

・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

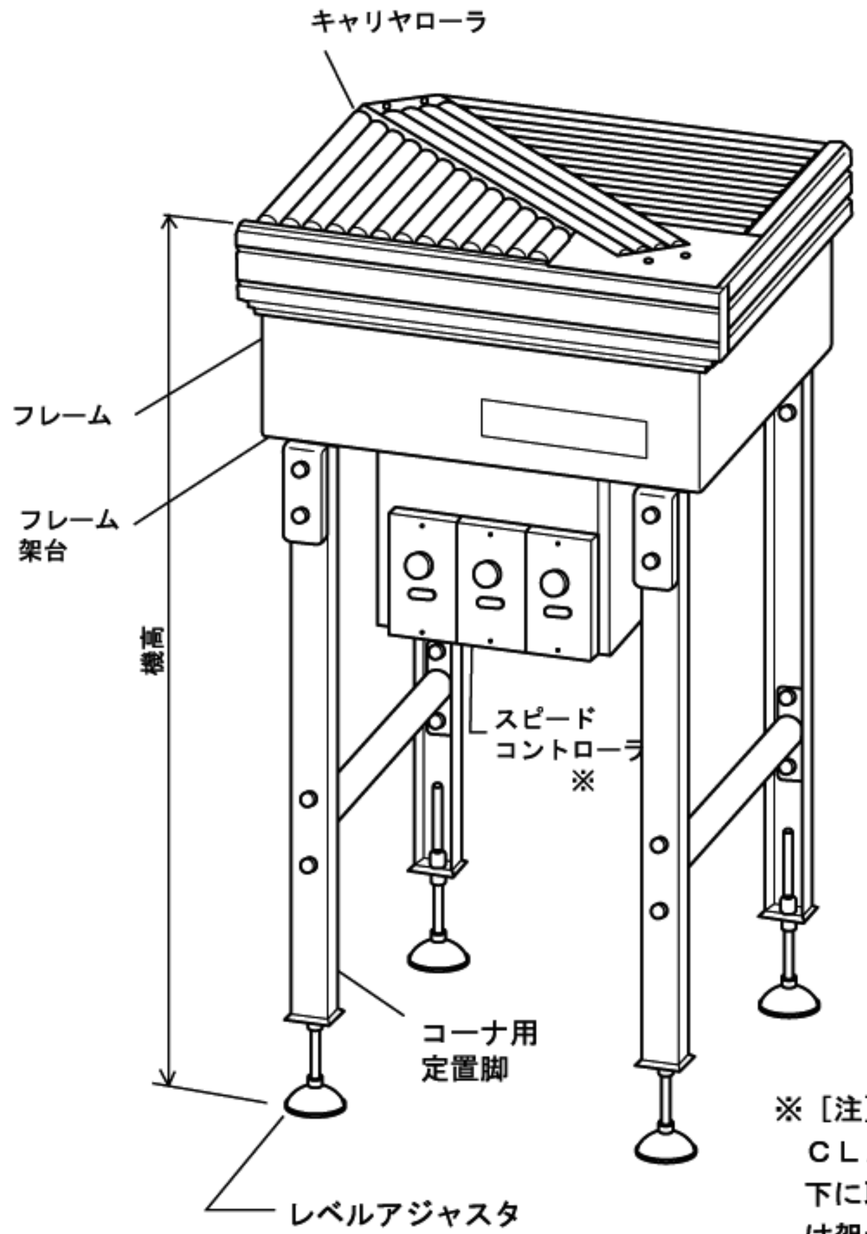
・駆動部

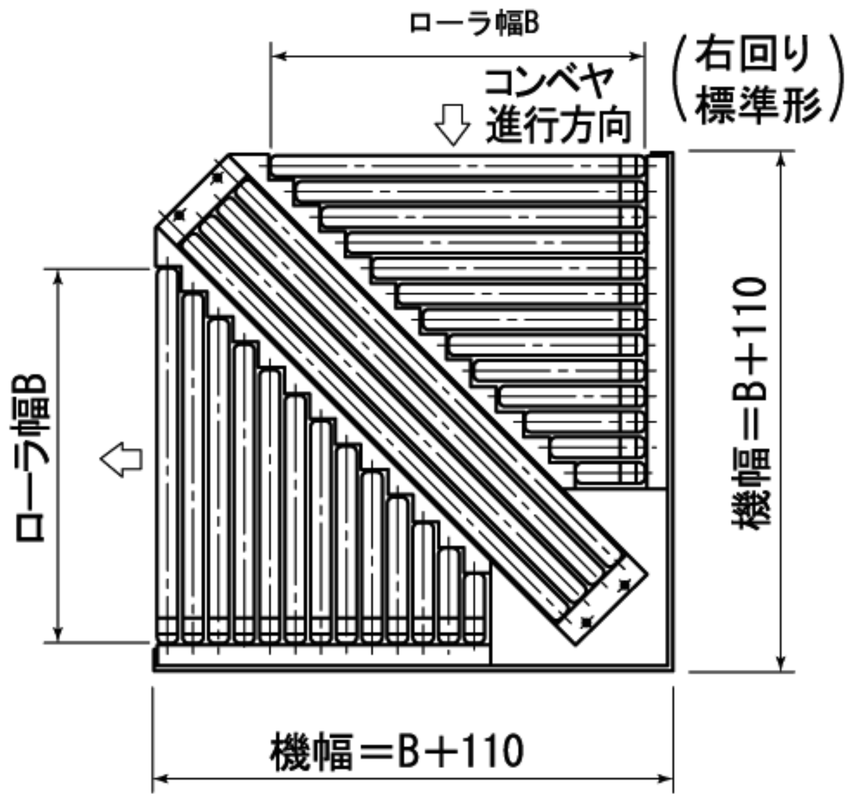


・フレーム端部



２－２　・ コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形





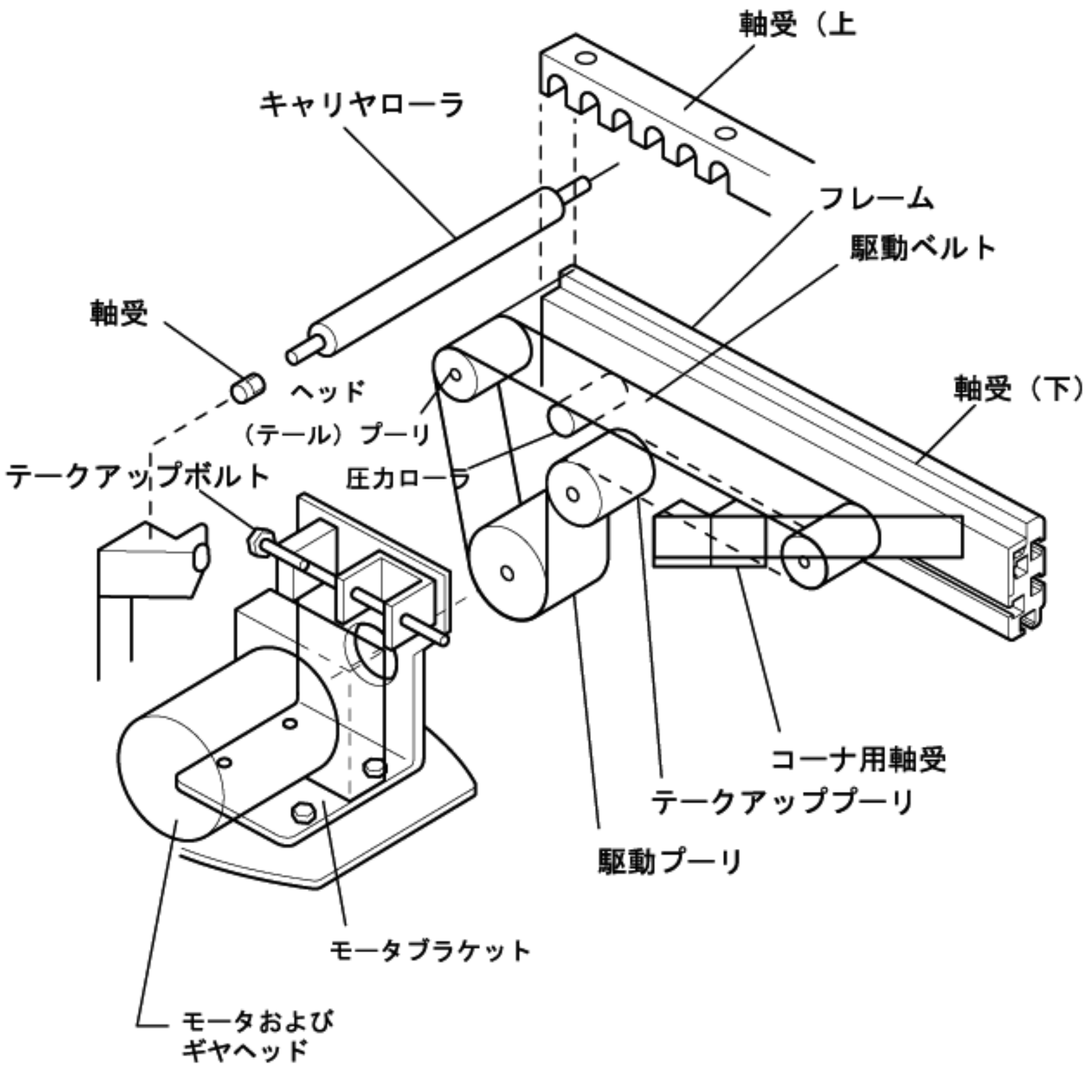
平面図

断面図

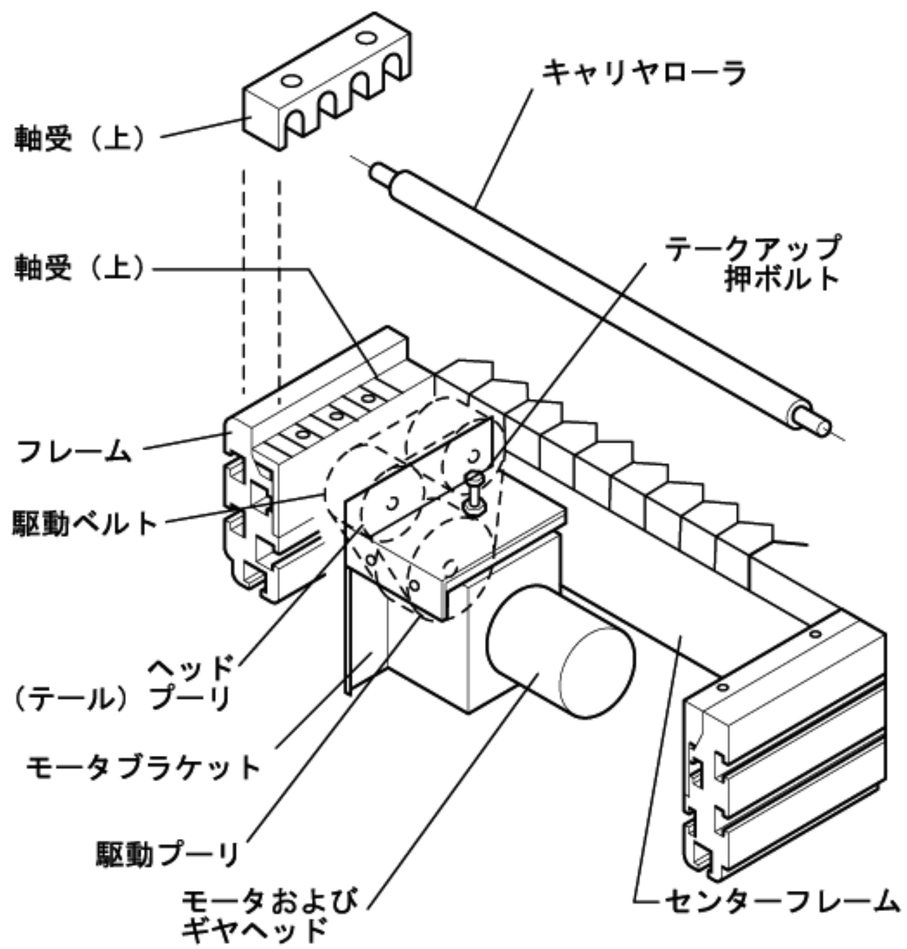
※［注］スピードコントローラは
ＣＬＡＣ－20形の場合のみ架台
下に取付け、ＣＬＡＣ－30形以上
は架台へ内蔵となります。

・コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形

・両端部



・中間部



3 組立

⚠ 注 意		■運搬・組立時注意 運搬・組立などのときにコンベヤを落してケガをしないよう十分に注意して行ってください。

３－１　脚の取付け

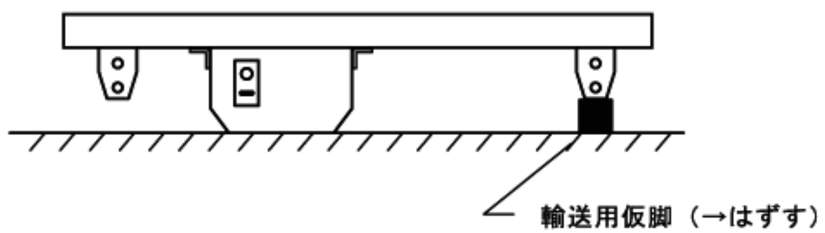
［注］・脚は別梱包で納品されます。

（１）脚の取付け

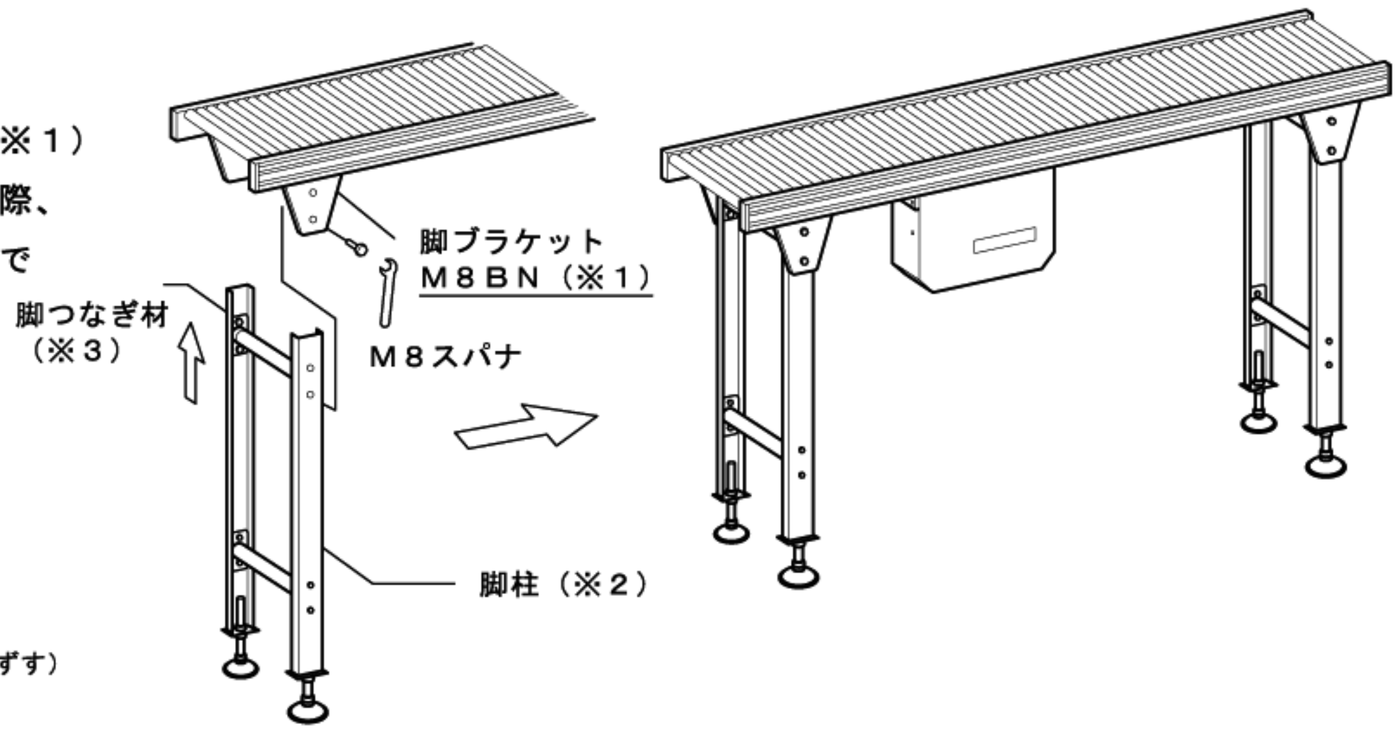
・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

フレームに取り付けられている脚ブラケット（※１）に、脚注（※２）を取り付けてください。この際、脚つなぎ材（※３）も一緒にＭ８ボルトナットで取り付けてください。

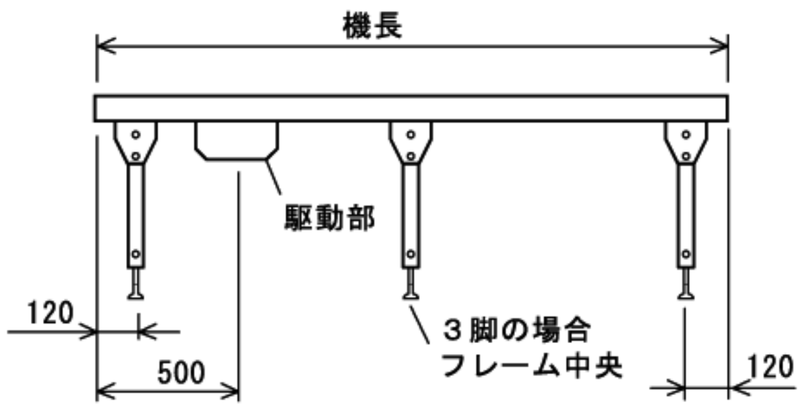
（このとき、輸送用の仮脚が付いている場合は取りはずしてください。）



・脚の取付け



■脚の取付け寸法基準



■機長別脚数

	機　　長（m）	
	0.72～2.24	2.28～3.0
脚数	2	3

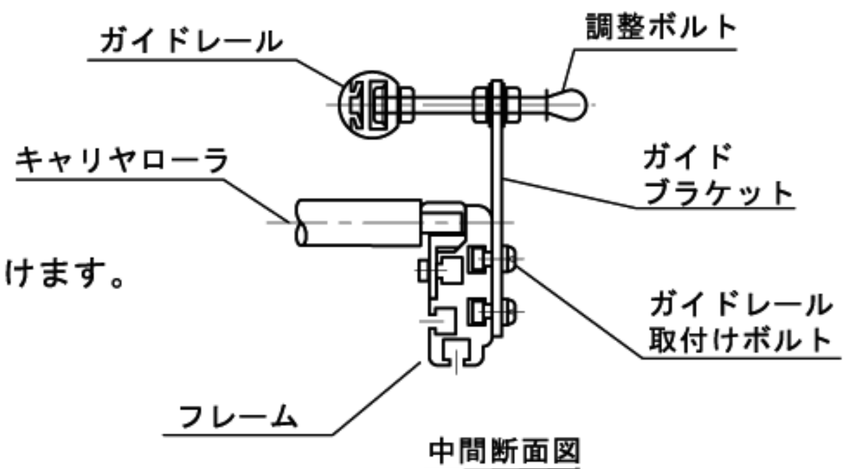
［注］・コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形の場合の脚は取付けられて納品されます。

［注］脚の取付け位置を変更する際は、コンベヤ全体のバランスを見て、
危険のないように行ってください。

３－２　ガイドレール（オプション）の取付け

ガイドレール（オプション）はフレームのアリ溝を使って右図のように取付けます。

・ガイドレール（オプション）の取付け
［例］Ｇ－Ｐ２形



中間断面図

３－３　コントロールユニットの取付け

電源　100/200Ｖ単相で、コントロールユニット（コントロールボックス）が
別梱包で付属されている場合、次のように取付けてください。

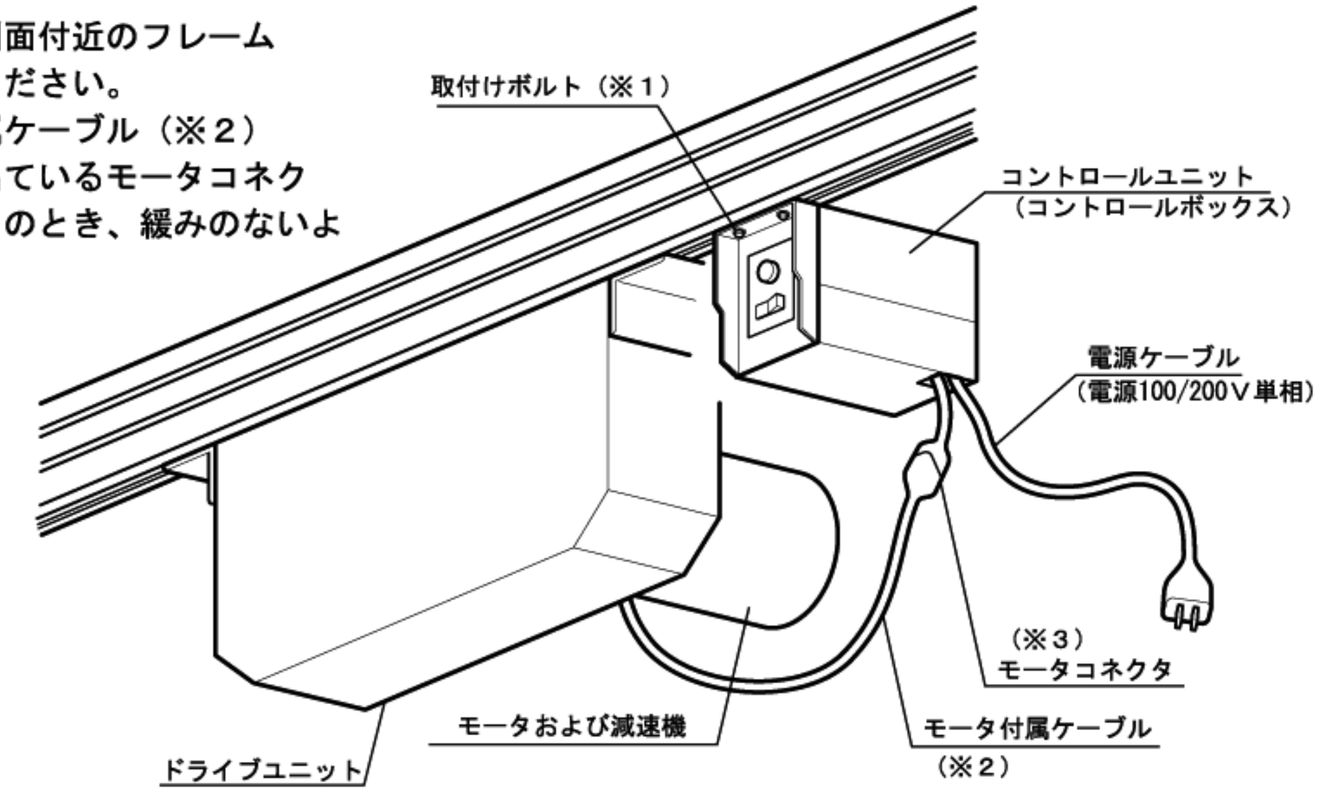
［注］電源が３相200Vの場合、標準仕様はモータのリード線端子までです。
スイッチ等コントロール装置はオプションとなります。

⚠ 注 意		■必ず電源を切る 必ず電源を切ってから行ってください。 （コンセントまたはコネクタからプラグを抜いてください。） 電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。

1　定速およびスピードコントローラ変速仕様の場合：

（１）コントロールボックスをドライブユニットの側面付近のフレーム下部アリ溝に取付ボルト（※１）で取付けてください。

（２）ドライブユニット下面から出ているモータ付属ケーブル（※２）のコネクタをコントロールボックス裏面から出ているモータコネクタ（※３）に差込んで接続してください。（このとき、緩みのないように強く差込んでください。）



定速・スピードコントローラ変速
コントロールボックス配置

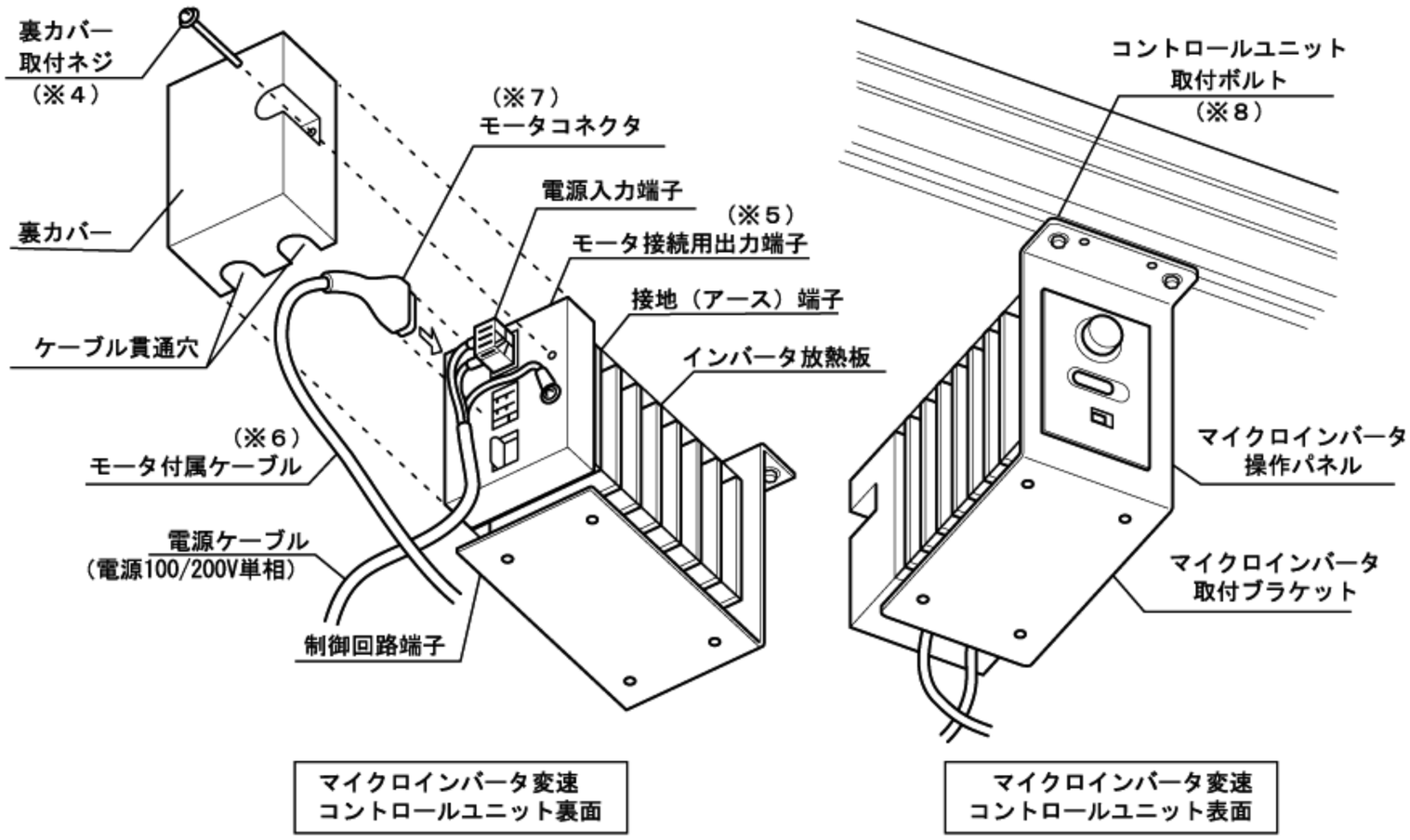
2 マイクロインバータ変速仕様の場合：

（1）マイクロインバータの裏カバー取付ネジ（※４）を緩めて裏カバーを外し、裏面中央のモータ接続用出力端子（※５）にドライブユニット下面から出ているモータ付属ケーブル（※６）のモータコネクタ（※７）を差込んで接続してください。（このとき緩みのないように強く差込んでください。）

（2）裏カバーを元の位置に裏カバー取付ネジ（※４）で取付けてください。

（3）このマイクロインバータ付きコントロールユニット全体をドライブユニットの側面付近のフレーム下部アリ溝に取付ボルト（※８）で取付けてください。

（→ ［注］マイクロインバータ標準接続図 P.16 参照）



4 運転

4－1　運転する前に

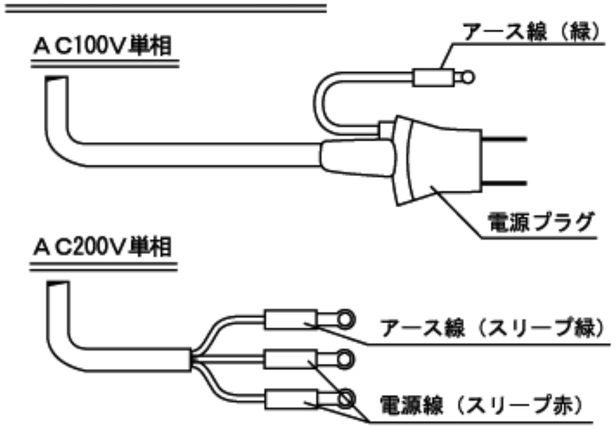
⚠ 注 意

■アース線：感電防止のため、必ず「アース線」を接続してください。
電源100V単相　仕様では電源プラグのアース端子（緑色）を接地
電源200V単相　仕様では電源プラグのアース端子（緑色）をアース付電源プラグに接地してください。
電源200V３相　仕様ではモータのリード線端子までが標準仕様です。スイッチ等はオプションとなります。配線の際モータまたはドライブ側板から所定のアース配線をしてください。

■非常停止装置
ご使用の際は、必ず「非常停止装置」を取付けてください。万一、作業者の身体の一部が巻き込まれたとき、直ちにコンベヤを停止できないと危険です。

■起動警報装置
運転操作位置からコンベヤを全て監視できない場合には、危険防止のため起動を予告する「起動警報装置」を設けてください。

● 電源ケーブル端子

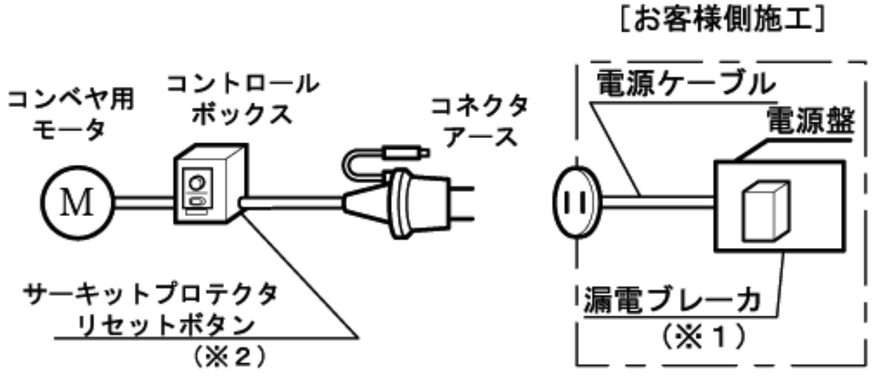


■漏電ブレーカ（漏電遮断器）設置のお願い
漏電防止のため、電源側には必ず漏電ブレーカ（漏電遮断器）（※１）を設置してください。

■サーキットプロテクタ（電気回路保護装置）について
電源仕様：100V200V単相用には過負荷などによるモータの焼損を防止するための保護回路として、サーキットプロテクタ（電源回路保護装置）がコントロールボックスに内蔵されています。本装置が作動してコンベヤが停止した場合、リセットボタン（※２）を押し込めば回路は復帰し、起動スイッチで再起動できます。

［注］再起動させる場合は、停止した原因を十分調査、取除いた後に操作してください。

・制御機器の配置



4−2　コンベヤの起動

4−2−1 電源100V単相　電源200V単相 仕様

（１）定速　仕様の場合

コントロールユニットの昭光式起動スイッチを“RUN”にして起動運転してください。
停止は“ＳＴＯＰ”（元に戻す）にすれば止まります。

［注］このスイッチは電源の開閉用ではありませんので、長時間コンベヤを停止するときは、必ず電源プラグを抜くか元電源を切ってください。

（２）変速　仕様の場合

1　スピードコントローラの ＲＵＮ／ＳＴＯＰ スイッチが“ＳＴＯＰ”になっていることを確認のうえ電源を投入すると「通電表示」が点灯します。

2　ＲＵＮ／ＳＴＯＰ スイッチを“ＲＵＮ”にすると、モータは回転しコンベヤが起動します。
（スイッチは中間の状態で止めずに確実に“ＲＵＮ”または“ＳＴＯＰ”側に操作してください。）

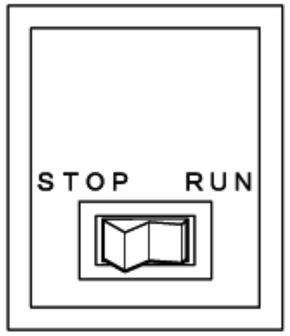
3　速度設定ボリュームを右に回すと速くなり、左に回すと遅くなります。
作業にあった適正な速度に設定してご使用ください。

4　ＲＵＮ／ＳＴＯＰ スイッチを“ＳＴＯＰ”にすると停止します。

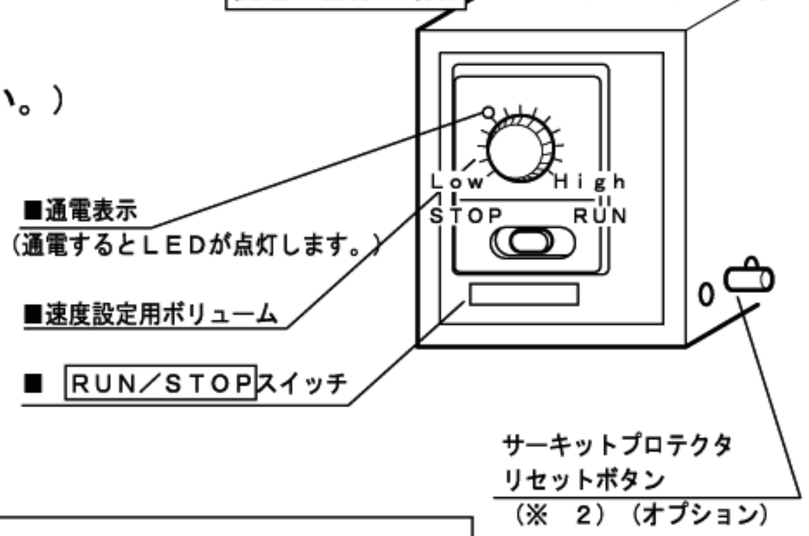
［注］このスイッチは電源の開閉用ではありませんので、長時間コンベヤを停止するときは、必ず電源プラグを抜くか元電源を切ってください。

［注］変速仕様の場合は、低速で長時間運転するとモータが焼損することがあります。必ず所定の仕様範囲内（カタログに表示）でご使用ください。

定速　仕様の場合　・照光式起動スイッチ



変速　仕様の場合・スピードコントローラ



⚠ 注 意

■負荷起動禁止
コンベヤ上に搬送物を載せたまま起動しないでください。
過負荷になりモータを焼損する恐れがあります。また、搬送能力の範囲内でご使用ください

■接触禁止
コンベヤ運転中は、絶対に手を触れないでください。コンベヤに巻込まれてケガをする恐れがあり、危険です。

■はさまれ・巻き込まれ注意
コンベヤに近づいて作業を行う場合ははさまれ・巻き込まれないよう十分ご注意ください。コンベヤに巻き込まれてケガをする恐れがあり危険です。

3－２　コンベヤの起動　続き

（３）マイクロインバータ付き変速仕様の場合：

1　マイクロインバータ操作パネルの RUN／STOP スイッチが“STOP”になっていることを確認のうえ電源を投入すると「通電表示」が点灯します。

2　RUN／STOP スイッチを“RUN”にすると、モータは回転しコンベヤが起動します。

3　速度設定ボリュームを右に回すと速くなり、左に回すと遅くなります。作業に合った適正な速度に設定してご使用ください。

4　RUN／STOP スイッチを“STOP”にすると停止します。

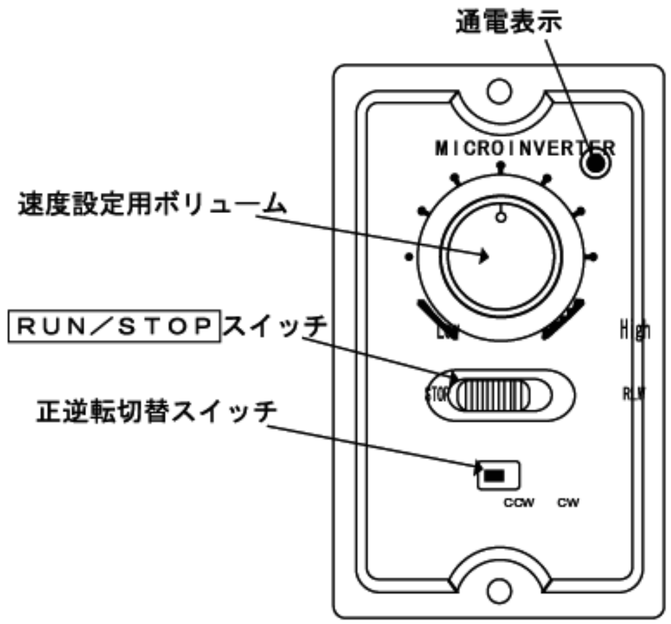
■過電流保護回路（電子サーマル）について

マイクロインバータ変速仕様の場合、マイクロインバータには過電流保護回路（電子サーマル）が内蔵されています。外部入力に過電流が生じるとモータ保護のため、この電子サーマルが自動的に働き回路は遮断されます。このとき操作パネルの通電表示は０．５秒間隔で点滅しますので、直ちにスイッチをSTOPにし、更に電源を切ってください。

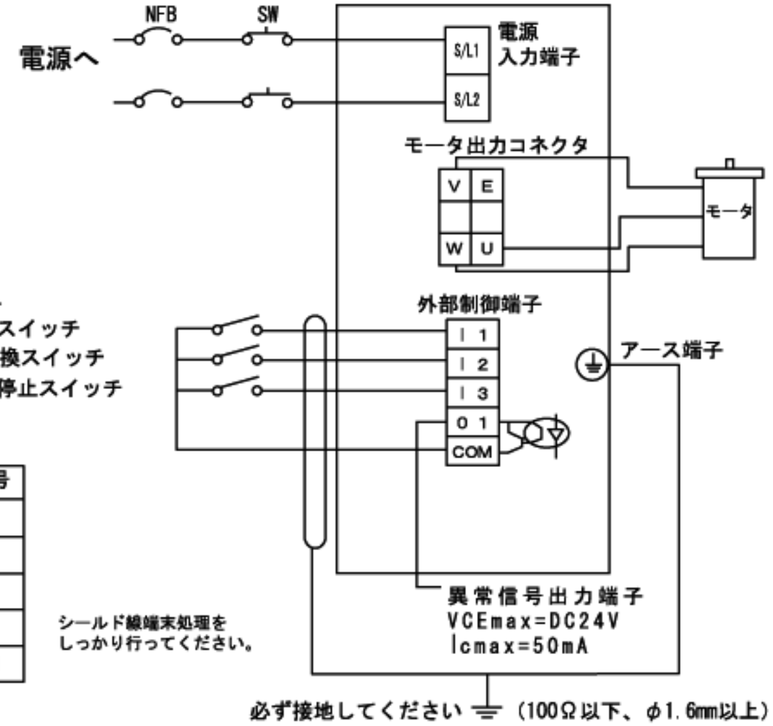
［注］電源OFF後、電子サーマルは自動的にリセットされますので必ずコントロールユニットの　RUN／STOP　スイッチをSTOPにしておいてください。再起動させる場合は、停止した原因を十分調査し取除いた跡に操作してください。

［注］感電防止および電波雑音（ノイズ）発生防止のため、必ずマイクロインバータのアース端子にアース線を接続し、接地（アース）してください。

→詳細は別紙「マイクロインバータ取扱説明書」をご参照ください。



マイクロインバータ
表　面（操作パネル）



コネクタNo.	電線色	端子記号
5	白	I 1
4	赤	I 2
3	黒	I 3
2	黄	O 1
1	緑	COM

マイクロインバータ標準接続図

マイクロインバータの標準仕様		
適用モータ		２５、４０、６０、９０W
定格出力電圧		三相ＡＣ２００Ｖ
電源電圧		単相ＡＣ１００Ｖまたは 単相ＡＣ２００～２３０Ｖ
許容電源電圧範囲		±１０％
電源周波数		５０／６０Hz±５％
周囲条件	温　度	－１０℃～＋４０℃ （凍結のないこと）
	湿　度	相対湿度９０％以下 （結露のないこと）
	雰囲気	室　内 （腐食性ガス、塵のない所）
	標　高	１０００ｍ以下

■マイクロインバータに関する注意事項

⚠ 注 意 （CAUTION）	（１）電源電圧は必ず定格範囲内にあることを確認のうえ、電源を投入してください。 （定格電圧を超えた場合、発煙や異常音などが生じる恐れがあります。） （２）コンベヤの起動停止は必ず　ＲＵＮ／ＳＴＯＰ　スイッチによって行ってください。 起動停止スイッチを別途に設けて外部制御する場合は、必ずコントローラユニット裏面の制御回路端子をご利用ください。（正逆運転を行う場合は、正逆切替スイッチをＣＣＷ側に設定してください。） （３）コントロールユニットの　ＲＵＮ／ＳＴＯＰ　スイッチは電源開閉用ではありませんので、長時間停止するときは必ず元電源を切ってください。 （４）低速での連続運転、頻繁な起動停止の繰返しなどは避けてください。機器の破損や寿命に影響します。 （５）コントロールユニット側面のインバータ放熱板は高温になりますので、手や物が触れないようにしてください。 （６）コントロールユニットの周囲温度は許容範囲（－10℃～＋40℃）内で、凍結のない状態でできるだけ低くしてお使いください。 （７）コントロールユニットに塵埃、鉄粉などが入らないように特に配慮してください。 （８）インバータの入力線、モータなどから電波雑音が発生し、電子機器に影響を与える場合がありますのでご注意ください。（その場合はインバータの入出力へのフィルタの設置や電線のシールドなどにより、ある程度抑えることができます。）

→詳細は別紙「マイクロインバータ取扱説明書」をご参照ください。

⚠ 注　意	●高所でご使用の場合は ■下面カバー・サイドカバー・ガードレール コンベヤ下に人が立入ることのできる高さの部分には危険防止のため「下面カバー・サイドカバー・ガードレール」（いずれもオプション）を取付けるか、または「立入り防止柵」を設けてください。

■コンベヤの運転方向の変更について

本コンベヤは構造上、運転方向を変えて正逆転させることはできません。
コンベヤ進行方向は、矢印表示シールで示されている方向でご使用ください。

［注］事前の調整用に正逆転用スイッチがついている場合はありますが　触れないでください。

■コーナローラタイプＣＬＣ形の速度調整について

コーナローラタイプＣＬＣ形は、両端部・中間部の各々専用のスピードコントローラを合計３個設けてありますので、搬送に応じた適正速度に設定してご使用ください。（P.8　参照）各々の速度を変えることにより、直角搬送や向きを変えない搬送などができる場合がありますが、確実性に欠けますのでご注意ください。

⚠ 注　意

■ 水濡れ禁止

水などのかからない場所で、周囲温度＋40℃～0℃の範囲内でお使いください。また、屋外に放置しないでください。

■ 爆発雰囲気使用禁止

爆発の危険のある雰囲気（ガス、粉塵など）では使用しないでください。

４－２－２　電源200V３相　仕様のコンベヤの起動

標準仕様にはスイッチ等は付いていませんがオプションとなっています。必要に応じて設置してください。

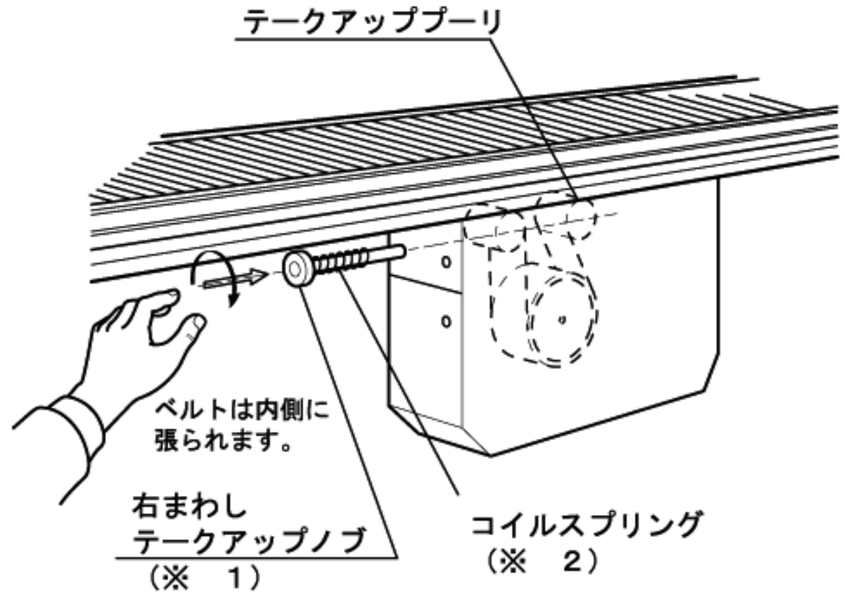
■お使いになった後に

⚠ 注　意	■　必ず電源を切る 点検・調整のときは必ず電源を切ってから行ってください。（コンセントまたはコネクタからプラグを抜いてください。）電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。	■　ローラの清掃 ご使用後はローラ表面の汚れを落し、常に清潔に保つようにしてください。コンベヤ表面に汚物などが付着しているとスリップ等でドライブが円滑に動かないことがありますのでご注意ください。

5 駆動ベルトの張り方（テークアップ）

本スクリーンコンベヤは軽量物の搬送用です。荷を載せすぎますとキャリヤローラはスリップして搬送できません。しかし、キャリヤローラが使用中に無負荷で停止したり、軽量の荷でも搬送しない場合は、ローラを駆動する駆動ベルトがゆるんでいることがありますのでこの駆動ベルトを張ってください。
（これをテークアップといいます。）

・ＣＬＡＡ・ＣＬＡＤ形テークアップ



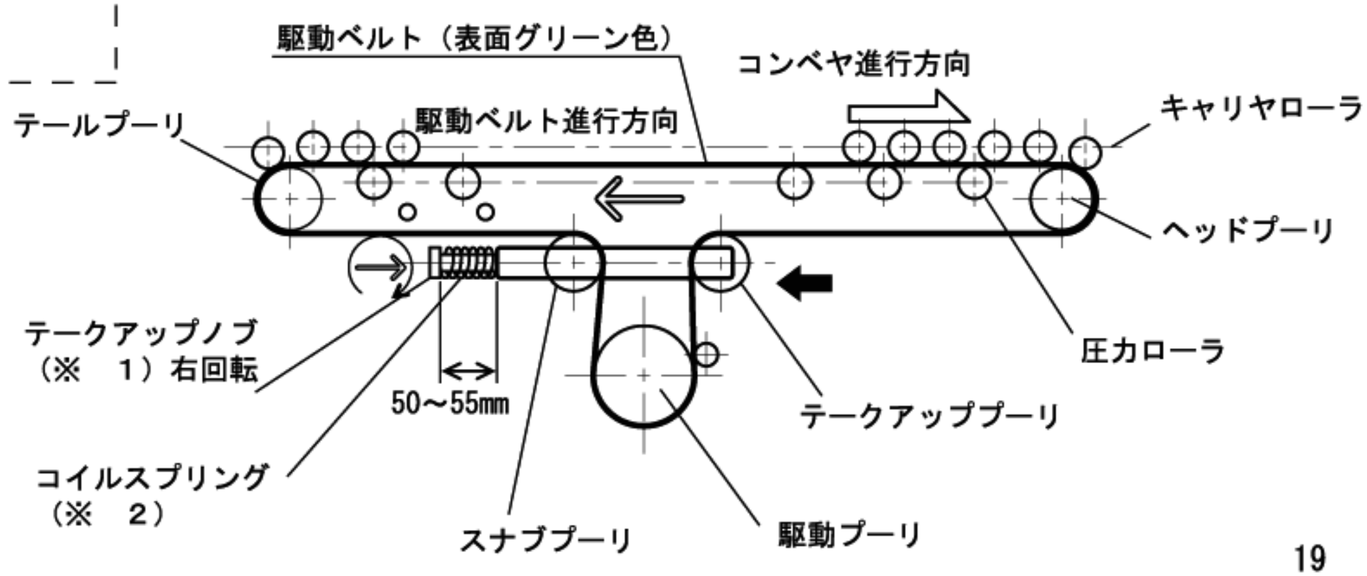
５－１　アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

駆動部側面のテークアップノブ（※　1）を右回りに少しずつ回してベルトを張ってください。

■ベルトの張り具合について
ベルトはあまり張り過ぎないようにしてください。駆動プーリとベルトがスリップしない程度に張れば、ベルトは動きます。

［注］テークアップネジ棒のコイルスプリング（※　2）の長さが50～55mmの範囲内におさまる程度にセットしてください。

［注］ベルトの張り過ぎは、モータの過負荷・ベルトやプーリの寿命の低下などの原因になりますのでご注意ください。



５－２　コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形

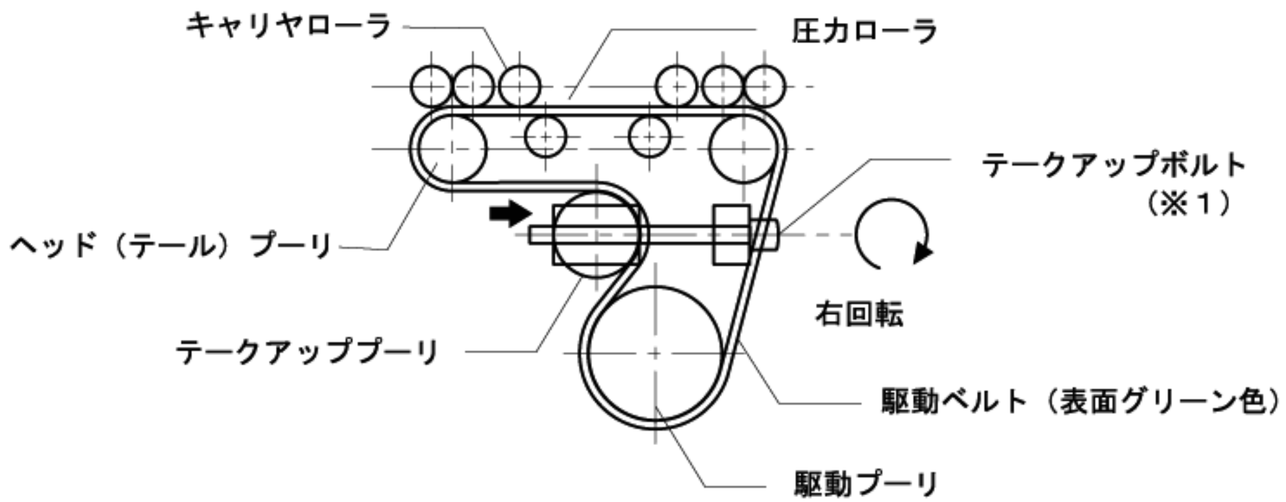
（１）両端部

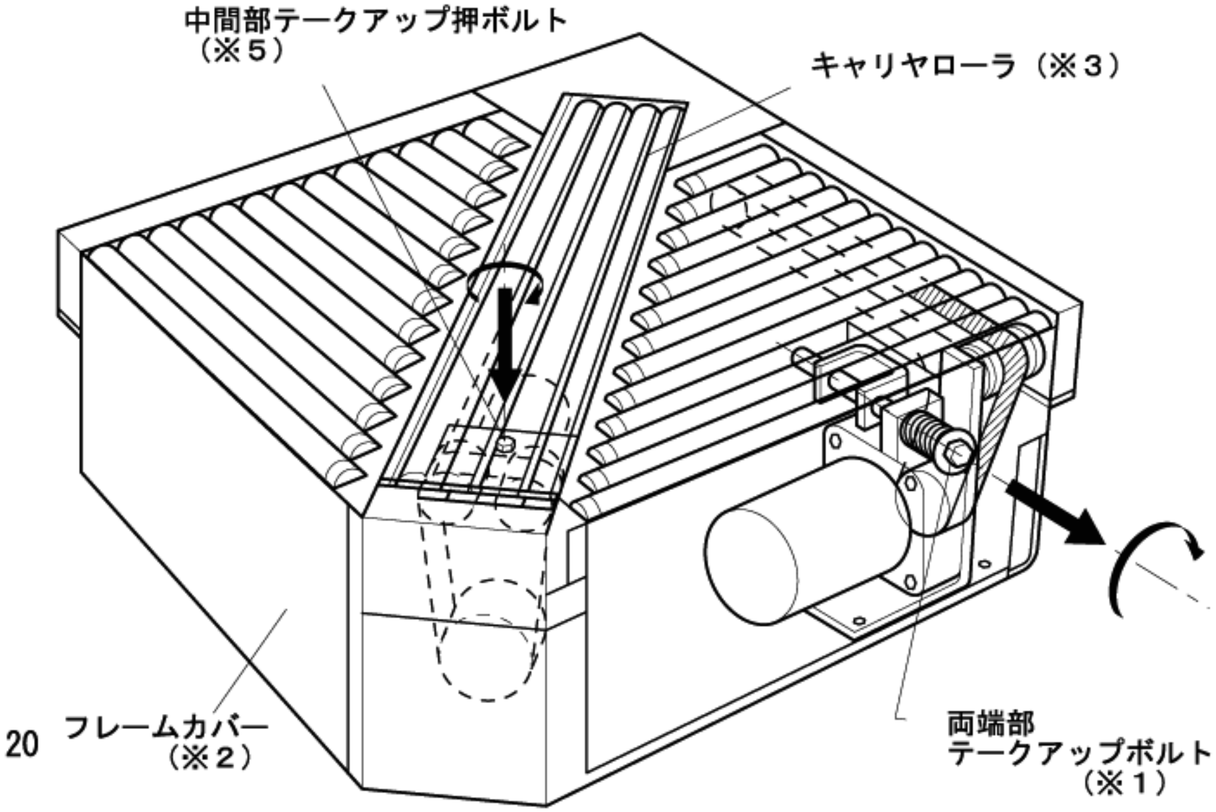
側面のテークアップボルト（※１）を右回転させるとテークアッププーリは→方向へ進み、駆動ベルトは張られます。

（２）中間部

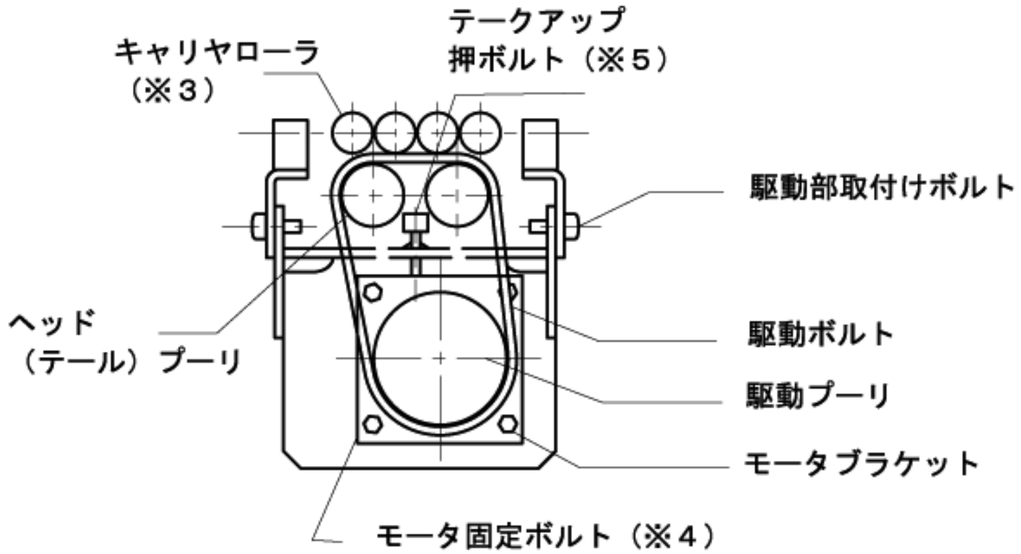
フレームカバー（※２）およびキャリヤローラ（※３）を取外し、モータ固定ボルト（※４）をゆるめてからテークアップ押ボルト（※５）を右回転させると、駆動部が下がりベルトが張られます。終了後モータ固定ボルトは締付けてください。

ＣＬＡＣ形
・両端部





ＣＬＡＣ形
・中間部



6 駆動ベルトの蛇行（片寄り）調整

６－１　ヘッド・テールプーリによる蛇行調整

・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形

・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

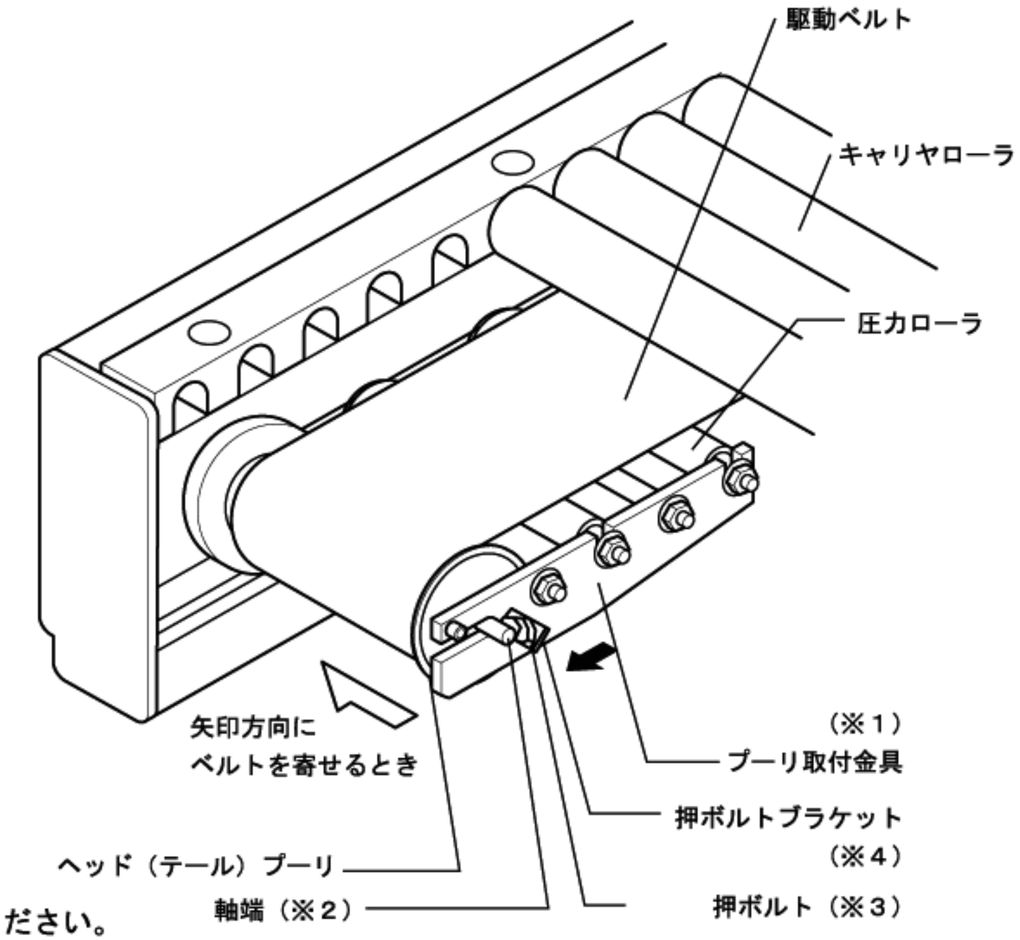
使用中に駆動ベルトの蛇行（片寄り）が発生した場合は、ゆっくりコンベヤを運転しながら駆動ベルトがヘッド（テール）プーリの中央部を走行するように次の手順で調整してください。

１）プーリ取付金具（※１）に支えられているヘッド（テール）プーリ軸端（※２）に接する押ボルト（※３）をスパナで回し、プーリ軸端を矢印→方向に少し押出すようにすると、駆動ベルトは矢印→方向へ寄せられます。

押ボルトを逆に移動させれば、駆動ベルトも逆方向へ寄ります。

２）片寄り調整後は、緩めた押ボルト・ナットを押ボルトブラケット（※４）にしっかり締付け固定してください。

・ＣＬＡＡ・ＣＬＡＤ形ヘッド（テール）プーリ部



［注］ヘッドおよびテールプーリの両方を同時に調整しないで、片方ずつ蛇行調整をしてください。

［注］１．駆動ベルトの蛇行調整はコンベヤを運転しながら行いますので巻き込まれないよう十分注意してください。

２．蛇行調整は、ベルトの片寄り具合を確認しながら少しずつ調整するのがポイントです。ベルトは少しずつ移動しますので、ベルトが落ち着くまで確認ください。

7 駆動ベルトの交換

７－１　駆動ベルトの種類およびベルト長さ

コンベヤ形　式	アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形 駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形	コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形	
エンドレスベルト本数	１本／台 機長（㎜）×２＋３５０（㎜）	両　端　部：2本／台 ローラ幅２０cm＝５８３㎜　３０cm＝７８３㎜　４０cm＝９８３㎜ ５０cm＝１１８８㎜　６０cm＝１３８８㎜	中　間　部：1本／台 （ベルト周長：３４０㎜）
ベルト幅	２８㎜	２０㎜	
種　　類	フォルボ・ジークリング・ジャパン㈱製／ＧＧ１５Ｅ－１８Ｇ		

７－２　駆動ベルトの交換方法

⚠ 注 意		■　必ず電源を切る 必ず電源を切ってから行ってください。 （コンセントまたはコネクタからプラグを抜いてください。） 電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。

・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

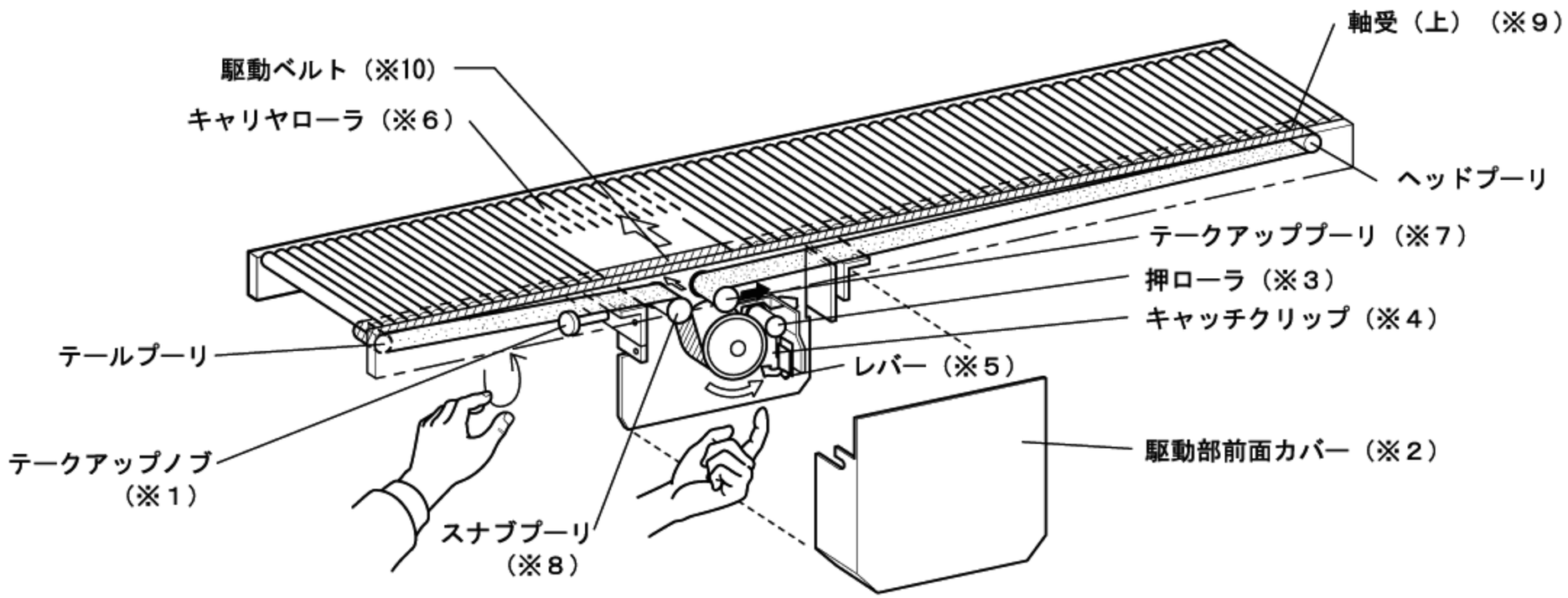
１）テークアップノブ（※１）を回し、駆動ベルトをいっぱいに緩めてください。

２）駆動部前面カバー（※２）を外してドライブプーリ横のベルト押ローラ（※３）を押付けているキャッチクリップ（※４）のレバー（（※５）を指で横手前に引いてクリップを外し、押ローラの押付け力を緩めてから、ドライブプーリに掛かっているベルトを横に引出して外してください。

３）駆動部の上部にあるキャリヤローラ（※６）を外し、テークアッププーリ（※７）とスナブプーリ（※８）との間の隙間から駆動ベルトを上に引出してください。

４）キャリヤローラのベルト側の軸受（上）（※９）の上部の取付ボルトを全面にわたって緩め、駆動ベルト（※10）とキャリヤローラの間に隙間を設けてください。

５）ヘッドおよびテールプーリから駆動ベルトを外したうえ、駆動ベルト全体をフレーム幅方向にゆっくり引出すようにして外してから更に横に引出して駆動ベルトを取除いてください。



６）新しい駆動ベルトを以上の逆の順序で挿入し、各プーリに正しく取付け配置してから、キャリヤローラ・軸受（上）
及びドライブ前面カバーを元通り取付け、ボルトをしっかり締付けてください。

７）テークアップノブを回しベルトを張ってから、運転・蛇行調整を行ってください。

・コーナローラタイプ／ＣＬＡＣ形　（→P. ２４図参照）

（１）両端部

１）軸受（上）（※１）およびキャリヤローラ（※２）を外し、テークアップボルト（※４）を回してベルトをゆるめてください。

２）駆動部取付ボルト（※３）を外し、駆動部を外にずらしながらベルトを外してください。

3）新しい駆動ベルトを入れながら、駆動部を元の位置に戻しボルトを締めてください。

４）新しい駆動ベルトを各プーリおよび圧力ローラに正しく配置してからテークアップボルトにてベルトを張ってください。

５）取外した軸受（上）およびキャリヤローラを元通り取付けてください。

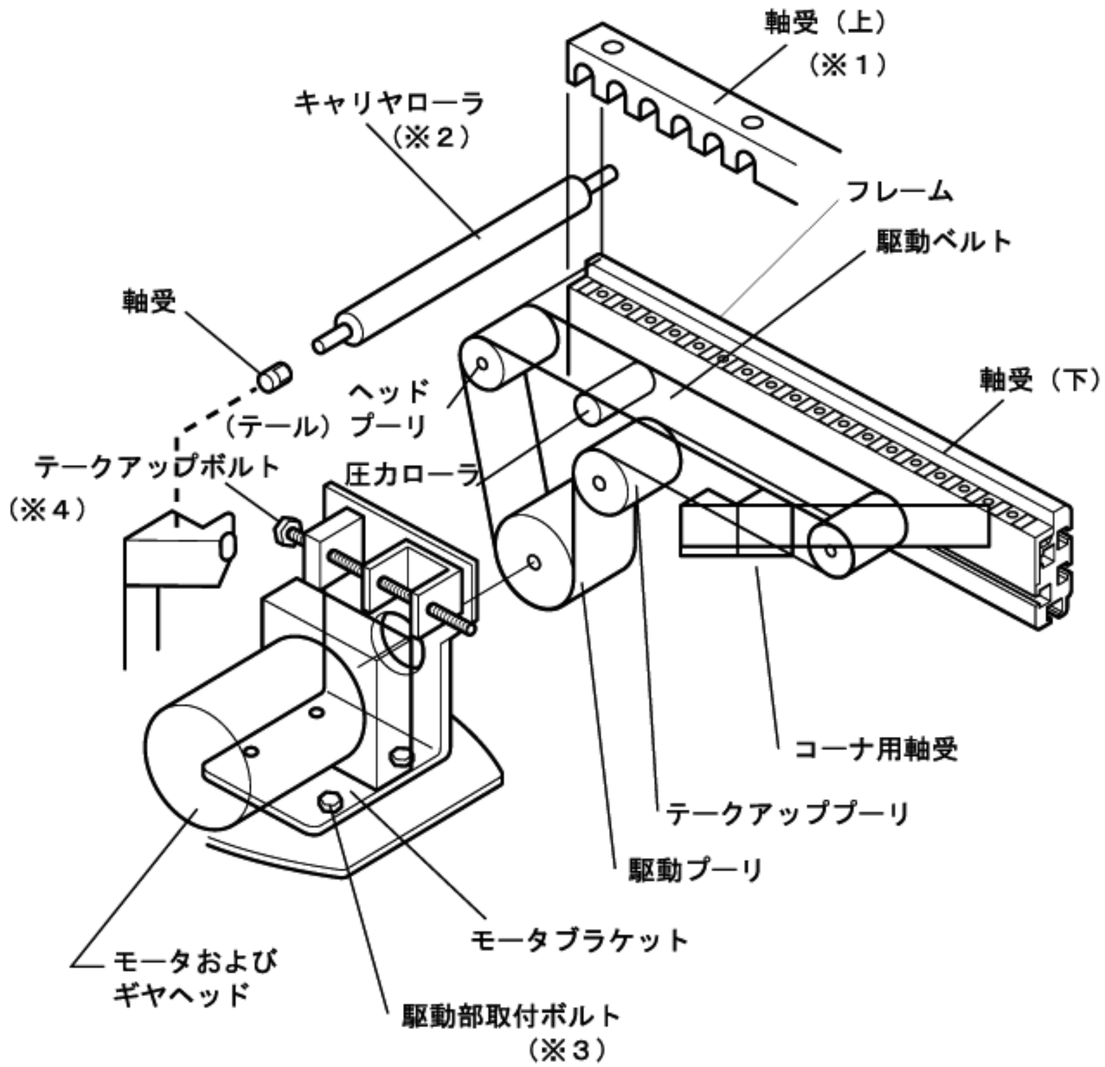
（２）中間部

１）軸受（上）（※６）およびキャリヤローラ（※７）を外し、駆動部取付ボルト（※８）を緩め、駆動部を取外してください。

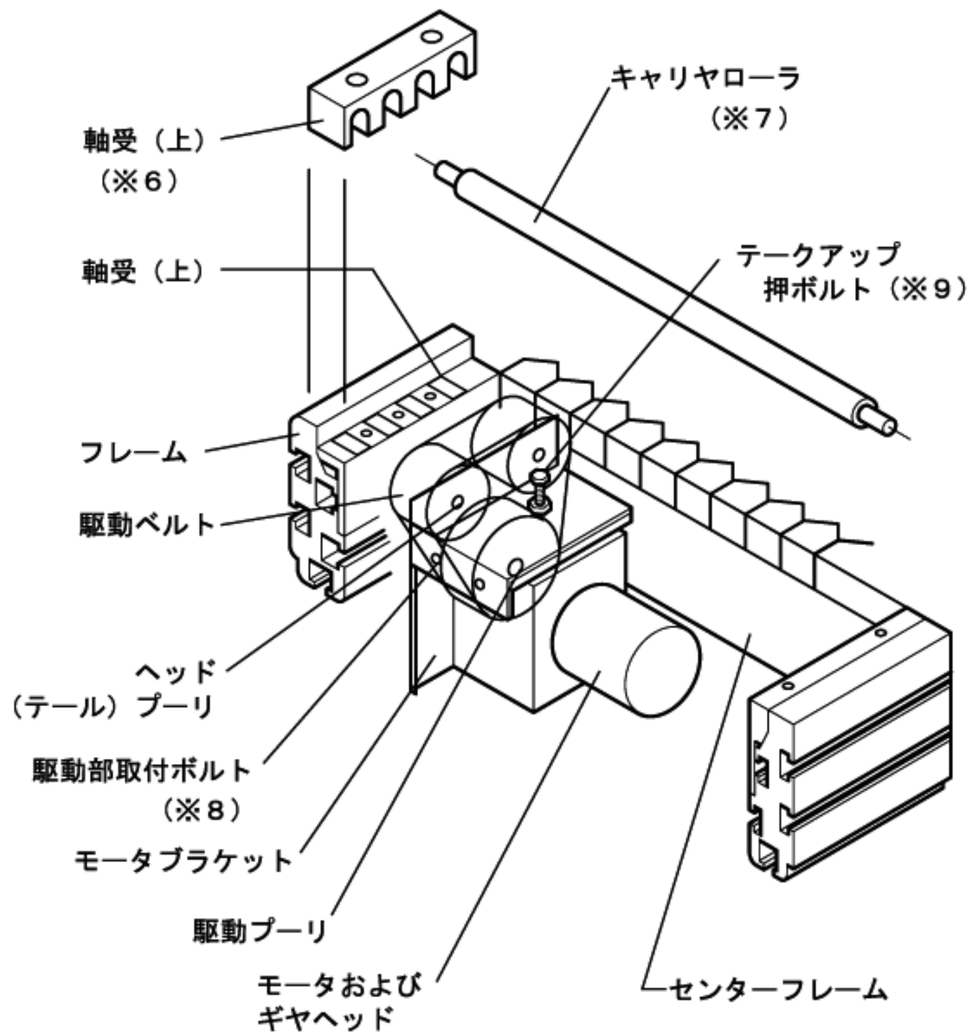
２）テークアップ押ボルト（※９）を緩め、モータ取付ボルトを緩めてから駆動ベルトを交換してください。

３）テークアップ押ボルトを回し、駆動ベルトを張ってから、駆動部を元の位置に取付け、外したカバー及びキャリヤローラを元通り取付けてください。

・ＣＬＡＣ形両端部



・ＣＬＡＣ形中間部



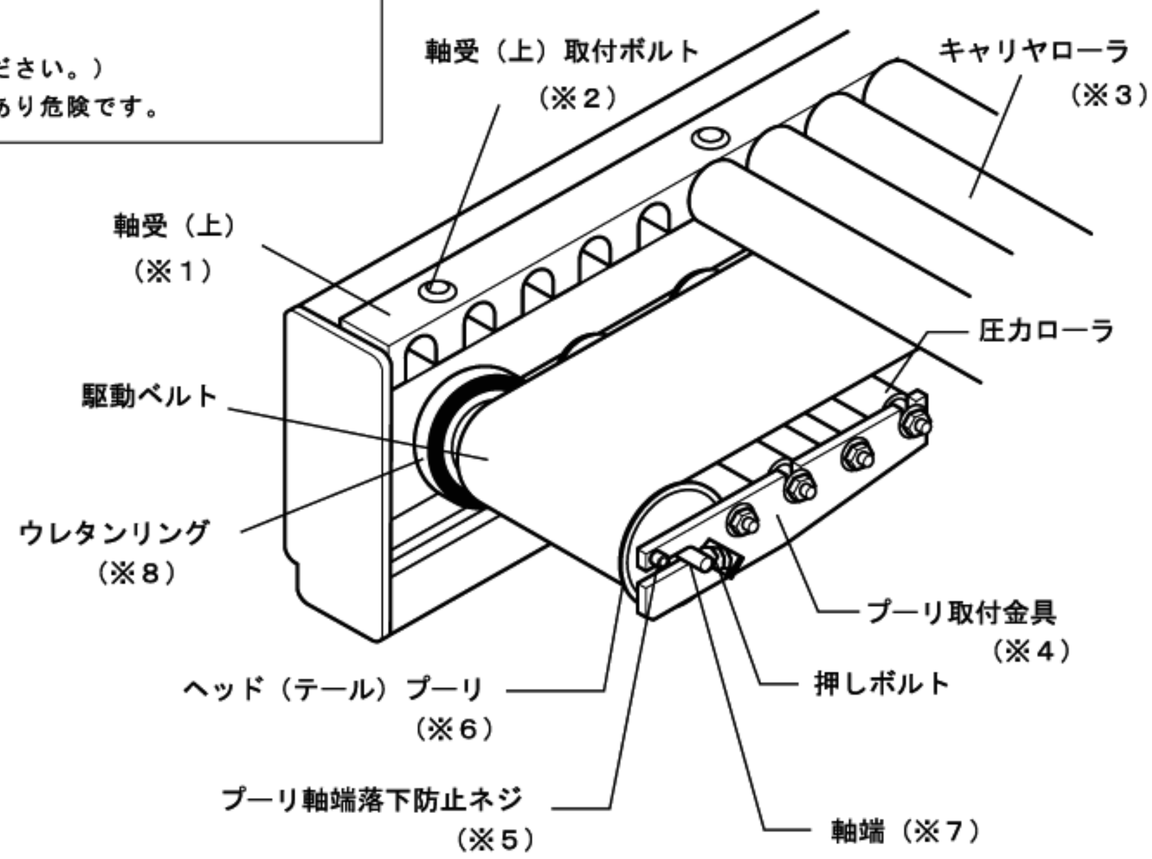
8 ドライブウレタンリングの交換

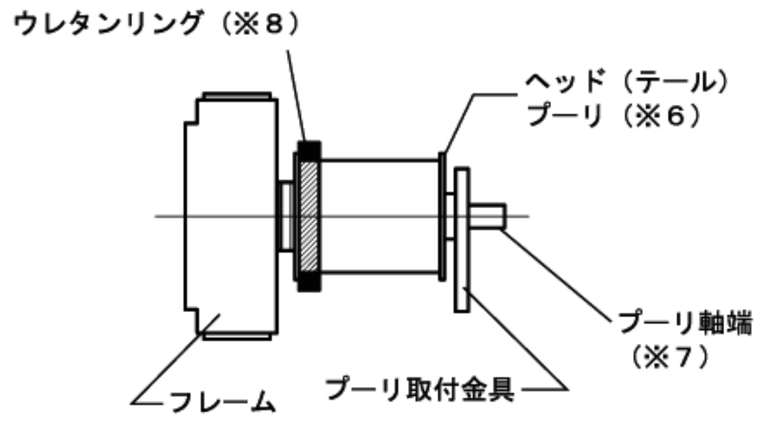
⚠ 注 意	■ 必ず電源を切る 必ず電源を切ってから行ってください。 （コンセントまたはコネクタからプラグを抜いてください。） 電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。

・アキュムレートタイプ／ＣＬＡＡ形
・駆動ローラタイプ／ＣＬＡＤ形

両端部のキャリヤローラは、駆動ベルトのヘッドおよびテールプーリに付属するウレタンリングによって駆動されています。
両端部キャリヤローラが駆動しないときは、このウレタンリングが磨耗してローラに接触していないことがありますので、チェックの上、次の手順で交換してください。
ドライブウレタンリング：ロ３×内径２９Φ（外径３５Φ）

1）テークアップノブを回して駆動ベルトを緩めた上、交換するプーリ側のフレーム上面の軸受（上）（※１）の取付ボルト（※２）をゆるめて軸受を外し、プーリ部分だけのキャリヤローラ（※３）を外してください。
2）プーリ取付金具（※４）が取付けられているプーリ軸端落下防止ネジ（※５）を六角レンチで外し、ヘッド（テール）プーリ（※６）を軸端（※７）を横にずらして外してください。
3）外したヘッド（テール）プーリ（※６）の端部の溝にはめ込まれている古いウレタンリング（※８）を取除き、新しいウレタンリングをはめ込んでください。このとき、溝・ウレタンリング共に四角断面でねじれやすいので注意して正しく挿入してください。
4）外した逆の順序でプーリ・キャリヤローラ・軸受等を組立ててください。
5）組立て後、ウレタンリングが正しくキャリヤローラに接しているか、またベルトの片寄りはないか確認してください。





9 点検と保守

⚠ 注 意	■ 必ず電源を切る 必ず電源を切ってから行ってください。 （コンセントまたはコネクタからプラグを抜いてください。） 電源が入っていると突然コンベヤが起動する恐れがあり危険です。

９－１　故障発見リスト

状　態	原　因	処　置
１．コンベヤが動かない。 （電源が入らない）	１）コンセントは差し込んでありますか。 ２）スイッチは入っていますか ３）電源は合っていますか （単相100V、200V、３相200V があります。）	１）２）点検してください。 ３）電源を確認してください。 P.14 参照 ・単相200Vのうち緑色1本はアースです。 ・単相200Vは220V電源には使えません。 （３相電源では使えます。）
２．電気は来ているが、 モータが動かない。	１）配線が外れている、または断線していませんか ２）スピードコントローラの目盛りが0ではありませんか ３）モータ保護回路が作動していませんか ４）モータ・スピードコントローラ（スピコン）の故障	１）配線の点検・修理。 ２）ボリュームを回してください。 P.15 参照 ３）保護回路の復帰 ４）交換（モータ・コンデンサ・スピコン等）。
３．モータは動くが、 駆動ベルトが動かない。	１）駆動ベルトが緩んでいませんか。 ２）駆動ベルトに粘着物などが付いていませんか。 ３）駆動ベルトが蛇行して噛み込んでいませんか。	１）ベルトを張ってください。 P.15 参照 ２）駆動ベルト下面の清掃。 ３）駆動ベルトが破損していないか確認のうえ、破損している場合は駆動ベルトを新しい物へ交換。P.22 参照 破損していない場合は元通り復旧、蛇行調整。 P.21 参照
４．駆動ベルトは動くが キャリヤローラが動かない	１）キャリヤローラが浮き上がっていませんか。 ２）キャリヤローラに異物が噛み込んでいませんか。 ３）キャリヤローラをガイドやカバーが押付けていませんか。	１）キャリヤローラを正しくセットしてください。 ２）異物を取除いてください。 ３）ガイドやカバーを点検調査。
５．駆動ベルトは動くが 変速できない。 （変速タイプの場合）	１）モータとスピコンの配線が断線していませんか。 ２）モータの変速装置（タコジェネ）スピコンの故障。	１）配線の点検・修理。 ２）交換（モータ・スピコン共）。
６．コンベヤに触れると ビリビリする。	１）フレームに静電気が帯電していませんか。 ２）漏電していませんか。	１）アースを取ってください。 P.14 参照 ２）点検・調査してください。

９－２　定期点検リスト

日頃の使い方や保守の不備によるコンベヤのトラブルは事前に防止できる内容のものが多いようです。
簡単な定期点検がコンベヤを長持ちさせることになり、能力をフルに発揮させます。

点検	点検部位	点検事項	点検方法	処　置	備　考
日常	駆動ベルト	スリップ（張り）および蛇行	目　視	調　整	⇨ P.19 P.21 参照
	キャリヤローラ （アキュムレートローラ）	異物の付着	目　視	取り除き	
1ヶ月	駆動ベルト	駆動ベルトのゆるみ・蛇行・ 摩耗・破損	目　視	駆動ベルトの張り、 または蛇行調整 取り替え	⇨ P.19 P.21 P.22 参照
	キャリヤローラ （アキュムレートローラ）	回転不良	目　視	点検調整、清掃	
3ヶ月	各種取付部品	ボルト・セットボルトのゆるみ	目　視 触　診	増し締め	
	モータ・減速機 （ギヤヘッド）	取付ボルトのゆるみ 軸受部・モータ部の発熱 異常音の発生	打診・振動 触診・計測 聴診	増し締め 分解・点検・取り替え 分解・点検・取り替え	
6ヶ月	駆動プーリ ヘッド・テールプーリ 軸受	回転異常 表面の摩耗 異常音・発熱	目　視 聴診・触診	取り替え 取り替え	

MEMO

MEMO

MEMO

製品の保証について

弊社標準コンベヤを正常な使用方法及び保守管理のもとで、保証期間内に万一故障した場合、無償にて故障箇所を弊社所定の方法で修理させていただきます。
製品の故障によって生じた派生的な損害については、弊社はその責任を負わないものとします。

◆保証期間

以下のいずれかに該当した場合、保証期間が終了します。
（１）製品出荷後１年を経過した場合
（２）稼動２４００時間を経過した場合

◆保証除外事項

以下の場合は、保証除外とします。
（１）弊社カタログ･取扱説明書･本体貼付ラベルなどに記載された範囲外の使用をされた場合および適正な保守管理をされなかった場合
（２）契約時の保証除外事項
（３）お客様による使用上の誤り、不当な改造･修理、天災･事故などの外部要因に起因する場合
（４）日本国内で購入された製品を弊社の承諾なしに海外へ持ち出した場合
（５）消耗品（ベルト・ローラ・プーリ・モータなど）

◆修理方法

故障した製品を弊社指定の工場へお持込みください。お持込み出来ない場合は、修理に必要な部品を提供いたしますのでお客様にて交換をお願いします。製品および部品の引渡しは日本国内といたします。

三機工業株式会社

●お問合せは最寄りの下記相談窓口まで

ロジテック部ＣＳ課　**カスタマーセンター**

神奈川県大和市下鶴間1742−7　専任のスタッフがお応えします。

お問い合わせ方法　TEL　046−273−8989　FAX　046−273−8990
URL　http://www.hansou.jp

テクニカルセンターを併設しています！技術相談のサポートはお任せください。

東日本ブロック営業　TEL　03−6367−7625　FAX　03−5565−5240
中部ブロック営業　TEL　052−582−5560　FAX　052−582−5545
西日本ブロック営業　TEL　06−6444−6322　FAX　06−6444−3285

●三機のコンベヤは、製品の管理･輸送には万全を期しておりますが、取扱方法や不具合、ご不明な点がありましたら、最寄りの弊社担当員までご連絡ください。
●本機の細部については改良などのため、予告なく変更することがありますので、あらかじめご承知ください。

取説コード　ＣＬＡ−002　’13.04